

川崎市
技連協

50th
設立50周年記念誌

川崎市技能職団体連絡協議会



技連協

設立50周年記念誌



会長挨拶



川崎市技能職団体連絡協議会

会長 山本 知男

川崎市技能職団体連絡協議会は、昨年10月末をもちまして、設立50周年という節目の年を迎えることができました。

これもひとえに、歴代の役員の皆様や御協力をいただいている関係機関の皆様、そして何より技連協の活動を御理解いただき、共に歩み、共に支えあってきた加盟団体の皆様のおかげでございます。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

技連協では発足以来、川崎市の技能職団体同士の連絡調整等を行いながら、技術・技能職者の社会的地位と技術・技能の向上に取り組んでまいりました。

ものづくりを支える我々技術・技能職者を取り巻く昨今の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、後継者不足・高齢化による技能断絶の危機、円安等による資材価格やエネルギー価格の高騰など、大変厳しいものとなっております。

こうした先行きの見えない世界を生き抜くためには、日々変化する社会情勢を的確にとらえながらも、技連協発足当時の原点に立ち返り、技術・技能が尊重される社会の形成に向けて、技能職者同士のネットワークを最大限活用して職種を超えて連携し、目の前にある課題を克服するための努力をするとともに、「ものづくりのまち川崎」の財産である技術・技能の継承、次世代を担う後継者の育成などの取組を進めていくことが必要です。

技連協といたしましては、これまでの50年間の活動を踏まえつつ、今後の技能職の限りない発展を願い、次の10年、20年に向けて新たな一步を踏み出している所存ですので、加盟団体の皆様におかれましては引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、記念誌の発刊に当たり、御厚情をお寄せいただきました関係各位には謹んで御礼を申し上げますとともに、次の代に向かって皆様方の限りない繁栄とご健勝を祈念申し上げます。発刊の御礼とご挨拶とさせていただきます。

祝 辞



川崎市長
福田 紀彦

川崎市技能職団体連絡協議会の設立50周年を心からお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和48年の発足以来、その技術の向上のため日々研鑽を積み重ねられ、50年間という長きにわたり、「ものづくりのまち・川崎」を支えてくださいましたことに、改めて深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げる次第でございます。

近年、技術・技能職者を取り巻く環境は、深刻化する担い手不足など厳しさを増しておりますが、これまでの川崎の発展には、皆様によって受け継がれてまいりました技術・技能の蓄積が不可欠であり、皆様方がこれまでに市民生活の向上に果たされた役割は極めて大きいものでございます。

このような中、後継者育成につきまして、市内の学校に出向いて、次世代を担う若者たちに、技能職者の職業としての魅力や、ものづくりの大切さを伝える「技能職者に学ぶ」事業への講師派遣や、技能職者最大の祭典「技能フェスティバル」への出展等、数多くの御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

本市も今年は市制100周年という歴史的な節目を迎えます。この機会を新しい川崎を生み出していくためのスタートラインと捉え、全国都市緑化かわさきフェアをはじめとして、皆様との協働・共創により、市内各地で「多様で多彩なアクション」を生み出し、次の100年に向けた取組につなげてまいりますので、皆様には、市民生活に欠くことのできない技術・技能により、引き続き、本市の持続可能なまちづくりにお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、川崎市技能職団体連絡協議会の益々の御発展と、会員の皆様の御活躍を心からお祝い申し上げますとともに、次の50年も市民生活を支える皆様の技能・技術が引き継がれていくことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

川崎技能職団体連絡協議会 結成までのいきさつ

昭和42(1967)年11月23日横浜においてわが国最初の技能功労者表彰が行われ、翌43(1968)年11月横浜市技能職種別団体連絡会(当時の名称)が誕生したことは、われわれにとって重大な関心事でありました。

さらに44(1969)年には、横浜市優秀中堅技能者表彰が発足。横浜の話を聞くたびに「何としても、川崎市の技能職が横の連絡をとりあい、技能職みんなの力で自分達の共通の問題を話し合い、解決する場が欲しい」という気持ちで一杯でした。

そして、熱意ある団体が中心となり、機会あるごとに市長や市にその旨を要請。繰り返し行ってきたことにより、昭和47(1972)年11月23日33職種100名の技能功労者表彰が川崎市主催で産業文化会館において初めて開催され、市技連協結成の気運はとみに高まりをみせました。

翌48(1973)年、川崎建設労働組合連合会々長 相川 誉、川崎美容組合連合会々長 井上 文太郎、川崎市菓子協議会々長 岡田 茂平の3氏を中心として技連協結成の準備が行われ、同年10月31日に産業文化会館において、川崎市技能団体連絡協議会設立総会を開催。

ここに発足の運びとなり、我々の宿願がここに実現したのであります。

目次

会長ごあいさつ 川崎市技能職団体連絡協議会 会長 山本 知男	4
市長メッセージ 川崎市長 福田 紀彦	5
結成のいきさつ	6
目次	7
技連協50年のあゆみ	8
職人の手と道具	14
団体紹介	17
青年部・婦人部	107
記念写真	111
○技連協のあゆみ	112
○設立50周年記念式典	114
○賀詞交歓会&懇親会 in カワスイ	118
歴代三役	121
広告	125
設立50周年記念事業実行委員会	139

技連協50年のあゆみ

年度	主な諸活動	(国内外)	(川崎市)
昭和47年 (1972年)			●政令指定都市となる(川崎・幸・中原・高津・多摩の5区が誕生)
昭和48年 (1973年)	・ 設立総会(産業文化全館) ・ 初代全長に相川誉氏が就任し、技連協スタート ・ 優秀中堅技能者表彰 (44職種・196名) ・ 技連協ボウリング大会の開催 (24チーム・96名)	石油危機による狂乱物価現象 オイルショックが起こる	●100万人目の市民が誕生する
49年 (1974年)	・ 第1回総会(箱根湯本・吉野) ・ 優秀青年技能者表彰 (49職種・204名) ・ 青年交流の会(ダンスパーティー) 200名参加 ・ 横浜市技連協との交流会(熱海市) ・ 「技連協だより」の発刊	アメリカ・ウォーターゲート事件でニクソン大統領辞任 プロ野球の長島茂雄が引退	
50年 (1975年)	・ 第2回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 事業推進のために、各専門委員会を設置 ・ 神戸市技連協との交流会(神戸市) ・ 技連協青年部の設立 (初代部長に内藤勝義氏が就任) ・ 技能職団体研修等補助金制度が施行	第1回先進国首脳会議(サミット) 山陽新幹線開通	
51年 (1976年)	・ 第3回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 神戸市技連協との交流会(熱海市) ・ 日中友好京浜地区勤労青年の翼(訪中団)参加 ・ 川崎市労働問題協議会委員の派遣 ・ 市中小企業婦人会館評議員の派遣 ・ 技能職者の労働実態調査実施	ロッキード事件で田中前首相が逮捕 南北ベトナム統一(ベトナム社会主義人民共和国成立)	
52年 (1977年)	・ 第4回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 第1回のかわさき市民まつりに参加 ・ 市立労働会館改築調査委員の派遣 ・ 中小企業集団川崎地区連絡協議会に加入 ・ 川崎市姉妹都市市民委員の派遣	日本赤軍の日航機ハイジャック事件 プロ野球・王選手ホームラン756号の世界新達成	●全国初の環境アセスメント条例を施行
53年 (1978年)	・ 第5回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 技連協婦人部の設立 (初代部長に田辺セツ子氏が就任) ・ 「技能功労者のつとめ」の開催 ・ 川崎市住宅相談の開設 ・ 川崎市技能職団体等感謝状贈呈基準の施行 ・ 第1回地引き綱大会(藤沢くげぬま)	成田空港開港 日中平和友好条約調印	
54年 (1979年)	・ 第6回総会(熱海・岡本ホテル) ・ いわき市技連協との交流会(いわき市) ・ 職業訓練指導員講習会の開催(労働会館) ・ 親団体・青年都・婦人部合同の新年会開催 ・ 第1回婦人部宿泊研修会(八ヶ岳市民休暇村)	第5回先進国首脳会議(サミット)が東京で開催 米中国交正常化	
55年 (1980年)	・ 第7回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 会長に井上文太郎氏が就任 ・ 第1回技連協ソフトボール大会の実施 (17チーム230名参加) ・ 技能会館建設基金積立て開始 ・ 中小企業近代化講習会(川崎駅ビル)	イラン・イラク戦争勃発	
56年 (1981年)	・ 第8回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 技能職問題神戸会議(神戸市) ・ 第1回技連協賀詞交換金(菅原会館)	エジプト・サダト大統領暗殺 福井謙一・ノーベル化学賞受賞	
57年 (1982年)	・ 第9回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 技連協結成10周年記念式典(労働会館) ・ 県下の技能職団体会議(横浜市)	アルゼンチンとイギリスのフォークランド紛争 東北新幹線, 上越新幹線開業	●核兵器廃絶平和都市を宣言する ●高津・多摩区の分区により、宮前区と麻生区が誕生する(7区制となる)



年度	主な諸活動	(国内外)	(川崎市)
58年 (1983年)	・ 技連協青年部長に鈴木克明氏が就任 ・ 富士市技連協来川情報交換・意見交換 ・ 第10回総会(熱海・池田ホテル) ・ 技能会館建設調査委員会発足(京都市視察) ・ 技連協「シンボルマーク」の作成 ・ 藤沢市技連協青年部設立準備委員会の役員来川, 設立に向けての諸課題について意見交換 ・ 講習会「市民生活における技能職・将来展望にたった技能職の未来」の開催	500円硬貨発行 東京のホテル・ニュージャパン火災 ソ連・領海内侵入の大韓航空機撃墜 参議院選挙で比例代表制の導入 戸塚ヨットスクールの校長逮捕	
59年 (1984年)	・ 第11回総会(熱海・池田ホテル) ・ 藤沢市技連協との交流会(石和) ・ 青年部長に佐藤進氏が就任 ・ 婦人部長に石黒ユキ子氏が就任 ・ 市政60周年記念「新年祝賀庖丁式並びに賀詞交換会」	ロサンゼルスオリンピック・ソ連圏15ヶ国不参加 アフリカの飢餓が拡大	● 備報公開制度を実施する
60年 (1985年)	・ 第12回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 技能会館建設要望書を市に提出 ・ 川崎市海外労働事情調査団に派遣	厚生省・国内エイズ患者第1号を認定 ソ連・ゴルバチョフ書記長就任 日航機ジャンボ墜落	
61年 (1986年)	・ 第13回総会(伊東・小湧園) ・ 技能会館建設基本構想の答申 ・ 技連協会長に高橋武氏が就任 ・ 技連協青年部長に目代久典氏が就任	男女雇用機会均等法の施行 フィリピン・アキノ大統領就任 アメリカ・スペースシャトル爆発 チェルノブイリ原発の事故	● 川崎地下街「アゼリア」がオープンする
62年 (1987年)	・ 第14回総会(熱海・ホテル池田) ・ 経営講座「川崎の街づくり」の開催(中婦会館) ・ (仮称)川崎市技能会館建設のための答申 ・ 新潟市技連協設立に向けて役員来川(意見・情報交換)	国鉄・分割民営化 中国・民主化運動広がる	
63年 (1988年)	・ 第15回総会(熱海・岡本ホテル) ・ 第1回技能フェスティバルの開催(元溝口郵便局跡地) ・ 経営講座「技能職とその後継者の将来展望について」の開催(菅原会館)	青函トンネル開通 アフガニスタン和平協定調印 リクルート事件	
平成元年 (1989年)	・ 第16回総会(熱海・ホテル池田) ・ 経営講座「90年代の変化する消費者ニーズ」の開催(菅原会館)	昭和天皇没、平成と改元 ベルリンの壁が崩壊 米ソ首脳会談、東西冷戦終結宣言 消費税導入	
2年 (1990年)	・ 第17回総会(熱海・ホテル池田) ・ 第1回技能職者海外技術研修に5名を派遣7日間(中国瀋陽市) ・ 青年部長に菅野健一氏が就任 ・ 経営講座「人生80年時代の生き方のライフスタイル」の開催(菅原会館)	東西ドイツ統一 イラク・クウェートに侵攻 湾岸戦争で多国籍軍に資金提供(10億ドル)	● 川崎市市民オンブズマン制度を実施する
3年 (1991年)	・ 第18回総会(熱海・ホテル池田) ・ 第2回技能職者海外技術研修に5名を派遣7日間(オーストラリア・ウーロンゴン市) ・ 海外美容技術指導者長期派遣事業(中国瀋陽市に2ヶ月間・美容師4名を派遣) ・ 福岡市技連協設立準備役員仙台市技連協青年部来川, 意見・情報交換	雲仙普賢岳で火砕流 湾岸戦争勃発(多国籍軍・イラク攻撃) 南アフリカ・アパルトヘイト廃止 欧州連合(EU)創設合意 ソ連消滅	
4年 (1992年)	・ 第19回総会(熱海・ホテル池田)	中国・韓国が国交樹立	

技連協50年のあゆみ

年度	主な諸活動	(国内外)	(川崎市)
5年 (1993年)	・ 会長に工藤昭氏が就任 ・ 婦人部長に竹花栄子氏が就任 ・ 第3回技能職者海外技術研修に5名を派遣8日間(アメリカ・ボルチモア市) ・ 技能職団体会議室の設置(高津区溝口) ・ 技能ガイドブックの発行	リオデジジャネイロで地球環境サミット 国連平和維持活動(PKO)協力法案可決)	● 平和活動の拠点、川崎市平和館を開館する ● エレベーター付き歩道橋、川崎ハローブリッジが開通する
6年 (1994年)	・ 第20回総会(エポックなかはら) ・ 技連協設立20周年記念事業 ・ 第4回技能職者海外技術研修に5名派遣8日間(ザルツブルク・ウィーン・ローマ) ・ 富士市・川崎市技能職団体交流会(いさご会館) ・ 「MEISTER IN KAWASAKI 川崎職人物語 vol.1」の発行	北海道南西沖地震 イスラエル・PLOがパレスチナ暫定自治に合意	
7年 (1995年)	・ 第21回総会(エポックなかはら) ・ 青年部長に福田雄臣氏が就任 ・ 市政70周年記念表彰(教育文化会館) 4団体・6個人受賞 ・ 技連協表彰(市長室)・世界美容技術選手権優勝者を表彰 ・ 第5回技能職者海外技術研修に5名派遣9日間(ドイツ(ベルリン・リュウベック)・ミラノ)(団長：工藤会長、副団長：都倉常任理事・金子理事) ・ 「MEISTER IN KAWASAKI 川崎職人物語 vol.2」の発行	政治改革関連法成立(小選挙区比例代表並立制を導入) 北朝鮮・金日成氏が没	
8年 (1996年)	・ 第22回総会(熱海・ホテル池田) ・ マイスター制度視察研修会(墨田区役所ほか) ・ 「MEISTER IN KAWASAKI 川崎職人物語 vol.3」の発行	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 世界貿易機関(WTO)発足	● ごみの鉄道輸送を開始する
9年 (1997年)	・ 生活文化会館(てくのかわさき)オープン記念式典(てくのかわさき) ・ 第23回総会(てくのかわさき) ・ 第1回てくのかわさき職人まつりを開催 ・ 仙台市・福岡市技連協がてくのかわさきを視察 ・ 青年部設立20周年記念式典(てくのかわさき)	国連が全面核実験禁止条約(CTBT)を採択	● 市職員採用試験の「国籍条項」撤廃 ● 外国人市民代表者会議がスタート ● 市民の健康づくりと安らぎのある環境づくりをめざし「かわさき健康都市宣言」を行う ● 東京湾アクアライン開通
10年 (1998年)	・ 第24回総会(てくのかわさき) ・ 青年部4市交流会(横浜・藤沢・富士・川崎) ・ 1997てくのかわさき技能フェスティバル開催 ・ かわさきマイスター(5人が認定)	中国・香港が返還 北朝鮮・金正日が総書記に就任	
11年 (1999年)	・ 第25回総会(てくのかわさき) ・ 1998てくのかわさき技能フェスティバル開催 ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 第1回技連協全国連絡会議(神戸市)	民主党の創立 インド・パキスタンが核実験	
12年 (2000年)	・ 第26回総会(てくのかわさき) ・ 婦人部長に磯野紀子氏が就任 ・ 1999てくのかわさき技能フェスティバル開催 ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 第2回技連協全国連絡会議(名古屋市)	中国・マカオが返還 東海村で国内初の臨海事故	● 岡本太郎美術館がオープン
12年 (2000年)	・ 第27回総会(てくのかわさき) ・ 青年部長に長谷川清氏が就任 ・ 他都市視察研修会(高崎市・柏崎市) ・ 2000てくのかわさき技能フェスティバル開催 ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 第3回技連協全国連絡会議(横浜市)	九州沖縄サミット開催 三宅島噴火 朝鮮・南北首脳会談(金大中・金正日) ロシア原潜沈没事故	



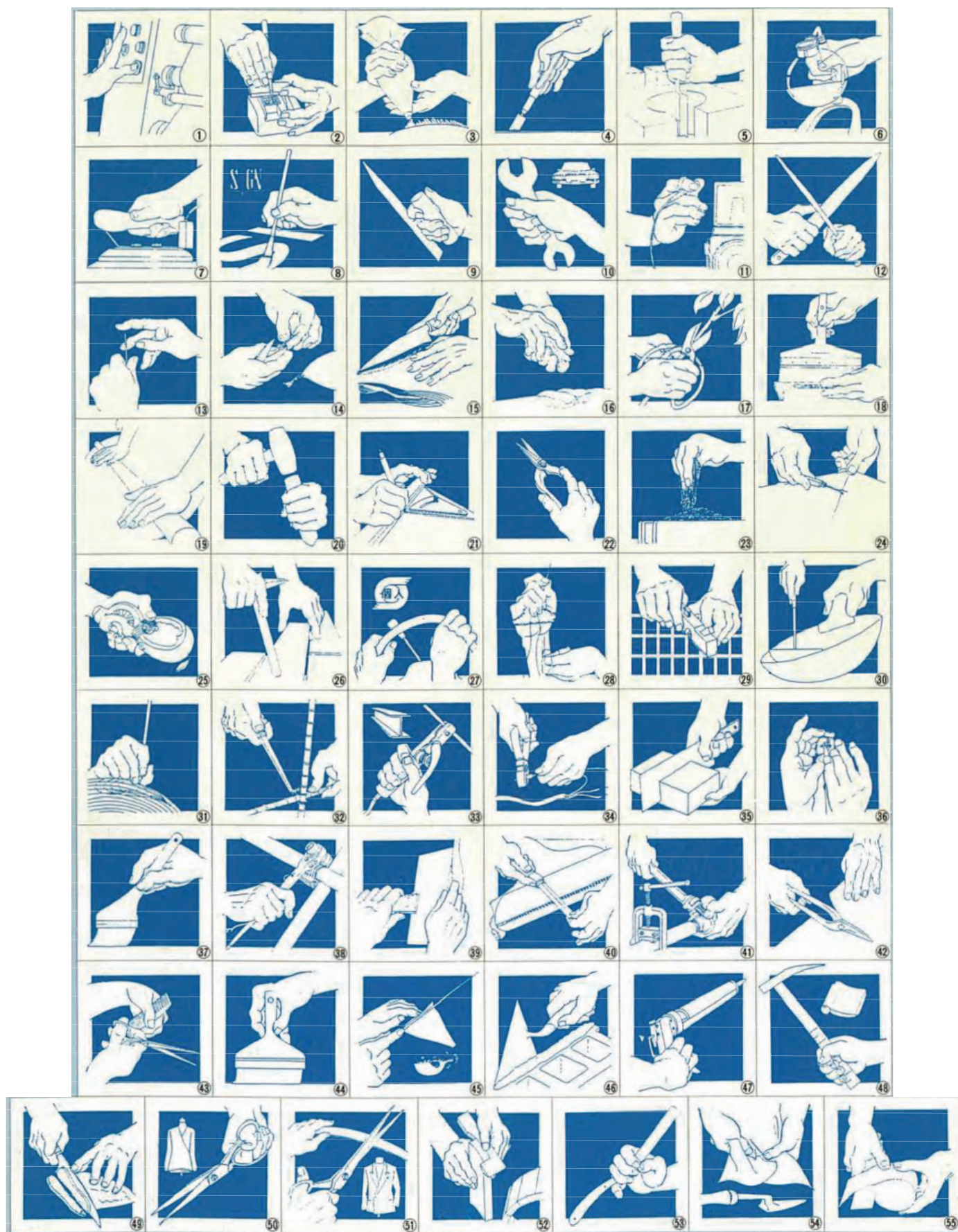
年度	主な諸活動	(国内外)	(川崎市)
13年 (2001年)	- 第28回総会(てくのかわさき) 2001てくのかわさき技能フェスティバル開催 - かわさきマイスター(5人が認定) - 第4回技連協全国連絡会議(福岡市) - 厚木市技連協てくのかわさき視察 - 後継者対策・中堅交流委員会「技能職者に学ぶ」実施(玉川中学校)	小泉内閣成立 国内初の狂牛病 アメリカで同時多発テロ	●子どもの権利条例を施行
14年 (2002年)	- 第29回総会(てくのかわさき) - 青年部長に田中雅男氏が就任 2002てくのかわさき技能フェスティバル開催 - かわさきマイスター(5人が認定) - 第5回技連協全国連絡会議(仙台市) - 後継者対策・中堅交流委員会「技能職者に学ぶ」実施(玉川・東高津中学校)	日本・韓国でサッカーワールドカップ開催 住民基本台帳ネットワーク移動 欧州単一通貨ユーロが流通開始	
15年 (2003年)	- 第30回総会(てくのかわさき) 2003てくのかわさき技能フェスティバル開催 - 技連協30周年記念事業「川崎フロンターレ応援観戦会」開催 - 技連協30周年記念事業・第6回技連協全国連絡会議(川崎市) - かわさきマイスター(4人が認定) - 後継者対策・中堅交流委員会「技能職者に学ぶ」実施(東高津中学校)	イラク戦争勃発 イラクのサマワに自衛隊を派遣 北朝鮮が核兵器不拡散条約(NPT)から脱退	
16年 (2004年)	- 第31回総会(てくのかわさき) - 会長に若月偉男氏が就任 2004てくのかわさき技能フェスティバル開催 - かわさきマイスター(3人が認定) - 第7回技連協全国連絡会議(大阪市) - 後継者対策・中堅交流委員会「技能職者に学ぶ」実施(東高津中学校)	新潟県中越地震 拉致被害者の蓮池、地村、曾我さんの家族帰国	●市人口130万人突破 ●ミューザ川崎シンフォニーホールが開館
17年 (2005年)	- 第32回総会(てくのかわさき) 2005てくのかわさき技能フェスティバル開催 - かわさきマイスター(3人が認定) - 第8回技連協全国連絡会議(富士市) - 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(生田・東高津・井田中学校)	郵政民営化法成立 JR福知山線で脱線事故	
18年 (2006年)	- 第33回総会(てくのかわさき) 2006てくのかわさき技能フェスティバル開催 - かわさきマイスター(5人が認定) - 第9回技連協全国連絡会議(藤沢市) - 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(東高津・井田中学校)	日銀が量的緩和解除 北朝鮮が核実験を実施	
19年 (2007年)	- 第34回総会(てくのかわさき) 2007てくのかわさき技能フェスティバル開催 - かわさきマイスター(3人が認定) - 第10回技連協全国連絡会議(いわき市) - 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(生田・東高津・井田中学校) - 婦人部総会・青年部総会 設立30周年記念合同式典(てくのかわさき) - 婦人部設立30周年記念宿泊研修(鳥羽)	アメリカでサブプライム問題 6か国協議で北朝鮮の核無能力化を合意	
20年 (2008年)	- 第35回総会(てくのかわさき) - 青年部長に井口康明氏が就任 2008てくのかわさき技能フェスティバル開催	後期高齢者医療制度スタート 米投資銀行リーマン・ブラザーズが経営破綻	●東扇島東公園が完成

技連協50年のあゆみ

年度	主な諸活動	(国内外)	(川崎市)
21年 (2009年)	・かわさきマイスター(3人が認定) ・第11回技連協全国連絡会議(尼崎市) ・後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(生田・井田中学校)	米大統領選でオバマ氏が当選	●東扇島東公園が完成
22年 (2010年)	・第36回総会(てくのかわさき) ・2009てくのかわさき技能フェスティバル開催 ・かわさきマイスター(5人が認定) ・第12回技連協全国連絡会議(高崎市) ・後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(東高津・生田・有馬中学校)	民主党政権発足 新型インフルエンザの感染拡大 裁判員裁判制度が始まる	●JR横須賀線武蔵小杉駅開業
23年 (2011年)	・第37回総会(てくのかわさき) ・婦人部長に藤井澄江氏が就任 ・てくのかわさき技能フェスティバル2010開催 ・かわさきマイスター(5人が認定) ・第13回全国技連協会議・交流会(厚木市) ・後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(東高津・生田・菅生・有馬中学校)	尖閣沖で中国漁船と海上保安庁巡視船衝突 東日本大震災 東京電力福島第1原発で炉心溶融(メルトダウン)発生	●川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムが開館
24年 (2012年)	・第38回総会(てくのかわさき) ・てくのかわさき技能フェスティバル2011開催 ・かわさきマイスター(5人が認定) ・第14回全国技連協会議・交流会(神戸市) ・東日本大震災被災者等支援基金贈呈 ・後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(南河原・王禅寺中央・東高津・平間・生田・田島・井田・菅生中学校)	原発停止による電力不足が深刻化 なでしこジャパン、女子サッカーワールドカップ優勝 北朝鮮の金正日総書記死去、金正恩氏が後継者に	
25年 (2013年)	・第39回総会(てくのかわさき) ・会長に都倉正明氏が就任 ・婦人部長に森節子氏が就任 ・てくのかわさき技能フェスティバル2012開催 ・かわさきマイスター(5人が認定) ・第15回全国技連協会議・交流会(南足柄市) ・後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(長沢・渡田・菅生・御幸・東高津・南菅・平間中学校)	第46回衆院選で自公圧勝し、第2次安倍内閣が発足 中国・習近平氏が総書記に就任	
26年 (2014年)	・第40回総会(てくのかわさき) ・てくのかわさき技能フェスティバル2013開催 ・技連協40周年記念事業 ・かわさきマイスター(5人が認定) ・第16回全国技連協会議(名古屋市) ・後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(菅・渡田・長沢・菅生・宮内・御幸・東高津中学校)	アベノミクス始動、日銀が「異次元の金融緩和」を決定 特定秘密保護法が成立 伊豆大島で土石流災害 ロシアによるウクライナ南部・クリミア半島併合	●殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」のまちびらき
27年 (2015年)	・第41回総会(てくのかわさき) ・てくのかわさき技能フェスティバル2014開催 ・かわさきマイスター(4人が認定) ・第17回全国技連協会議(横浜市) ・後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(渡田・御幸・長沢・宮内・菅生・東高津中学校)	消費税率8%へ引上げ 御嶽山噴火 「イスラム国」の樹立宣言 韓国旅客船「セウォル号」沈没事故	●川崎市制90周年
	・第42回総会(てくのかわさき) ・てくのかわさき技能フェスティバル2015開催 ・かわさきマイスター(5人が認定) ・第18回全国技連協会議(福岡市) ・後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施(渡田・御幸・田島・白鳥・東高津中学校)	安全保障関連法が成立 TPP交渉で大筋合意 COP21でパリ協定採択	

年度	主な諸活動	(国内外)	(川崎市)
28年 (2016年)	・ 第43回総会(てくのかわさき) ・ てくのかわさき技能フェスティバル2016開催 ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 第19回全国技連協議(仙台市) ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施 (住吉・御幸・生田・東高津・田島中学校)	熊本地震発生 英国がEUからの離脱を決定 米大統領選でトランプ氏勝利	●JR南武線小田栄駅が開業
29年 (2017年)	・ 第44回総会(てくのかわさき) ・ てくのかわさき技能フェスティバル2017開催 ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 第20回全国技連協議(川崎市) ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施 (宮崎・田島・御幸・白鳥・東高津中学校)	森友・加計問題 国連で核禁止条約採択	●市人口150万人突破
30年 (2018年)	・ 第45回総会(てくのかわさき) ・ 会長に山本知男氏が就任 ・ 青年部長に本田耕貴氏が就任 ・ てくのかわさき技能フェスティバル2018開催 ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 第21回全国技連協議(大阪市) ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施 (玉川・田島・平・長沢・南生田中学校)	米・北朝鮮が初の首脳会談 日産自動車のカルロス・ゴーン会長を逮捕 改正出入国管理法が成立	●川崎駅北口自由通路・北改札完成
令和元年 (2019年)	・ 第46回総会(てくのかわさき) ・ てくのかわさき技能フェスティバル2019開催 ・ かわさきマイスター(4人が認定) ・ 第22回全国技連協議(富士市) ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施 (玉川・田島・平・南菅・桜本中学校)	譲位による皇位継承、令和に改元 消費税10％に引上げ 令和元年東日本台風 ラグビーワールドカップ日本大会開催 首里城正殿などが消失	
2年 (2020年)	・ 第47回総会(書面開催) ・ かわさきマイスター(4人が認定) ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施 (田島・玉川・南河原中学校)	新型コロナ猛威、初の緊急事態宣言 米大統領選でバイデン氏勝利	●川崎市差別のない人権尊重のまち づくり条例が全面施行される
3年 (2021年)	・ 第48回総会(書面開催) ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施 (南河原・東高津中学校)	東京五輪・パラリンピック開催 熱海市で土石流発生 ロシアがウクライナ侵攻	
4年 (2022年)	・ 第49回総会(書面開催) ・ 婦人部長に中尾育子氏が就任 ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 第23回全国技連協議(藤沢市) ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施 (田島・平・王禅寺中央・日吉・白鳥中学校)	安倍元首相銃撃され死亡 旧統一教会の被害者救済新法成立 エリザベス英女王死去	●多摩川スカイブリッジ開通 ●川崎市立看護大学開学
5年 (2023年)	・ 第50回総会(てくのかわさき) ・ てくのかわさき技能フェスティバル2023開催 ・ 技連協50周年記念式典(川崎日航ホテル) ・ かわさきマイスター(5人が認定) ・ 第24回全国技連協議(いわき市) ・ 技連協50周年記念 賀詞交歓会・交流会 (カフスイ川崎水族館) ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」実施 (平・王禅寺中央・田島・大師・南加瀬中学校)	新型コロナ「5類」に移行 イスラエルのガザ地区侵攻 藤井竜王史上初の八冠達成 能登半島地震	

職人の手と道具



職人の手と道具



イラストデザイン制作者
山中 進
タイル製作
川崎市タイル煉瓦工事工業組合
1996年4月1日

職業紹介

印刷	印章	菓子	硝子	木型	喫茶	クリーニング	広告	左官	自動車整備	写真
食肉	鍼灸・指圧	寝具	水産物	寿司	生花	製本	製麺	石材	設計	造園
蕎麦	染物	大工	タイル・煉瓦	タクシー	畳	建具	中華	提灯	鉄筋	鉄骨
電気	豆腐	時計	塗装	鳶	内装	鋸	配管	板金	美容	表具経師
ふぐ包丁	ブロック	防水	屋根	洋食	洋装	洋服	浴槽	理容	和裁	和食

技能職者の活動拠点の場としての技能会館が平成8(1996)年4月、川崎市生活文化会館(愛称「てくのかわさき」)として開館しました。

技能を支える「職人の手と道具」のタイルデザインは当時から「てくのかわさき」のロビーや階段の踊り場に飾られています。





団体紹介

川崎市技能職団体連絡協議会
〔45職種51団体〕

衣に関する団体 (2)

川崎洋装組合
神奈川県和服裁縫協同組合川崎支部

食に関する団体 (4)

川崎市食肉商業協同組合
川崎市菓子協議会
川崎市パン協同組合
川崎中央中華料理組合

住に関する団体 (29)

川崎石材商工業組合
川崎建設労働組合連合会
川崎建築労働組合
川崎建設一般労働組合
川崎中部建設労働組合
川崎北部建職連合組合
横浜建設一般労働組合川崎支部
神奈川土建一般労働組合川崎支部
神奈川土建一般労働組合川崎中央支部
神奈川土建一般労働組合川崎西支部
首都圏建設産業ユニオン神奈川支部
中原建設連合会
川崎市板硝子商工業組合
川崎市左官業組合連合会
川崎市造園建設業協同組合
一般社団法人 神奈川県造園業協会川崎支部
川崎畳組合
川崎建具業組合
川崎古式消防記念会
川崎市内電気設備業連絡協議会
一般社団法人 川崎塗装業協会
川崎市塗装協会
神奈川県工業塗装協同組合
川崎市管工事業協同組合
川崎板金業組合
川崎インテリア表具組合
川崎屋根組合
川崎市ビルメンテナンス業協同組合
一般社団法人 神奈川県内装仕上技能士会

生活に関する団体 (16)

神奈川県印刷工業組合川崎支部
川崎市印章業組合
一般社団法人 神奈川県広告美術協会川崎支部
神奈川県生花小売商協同組合川崎北支部
神奈川県写真師会川崎支部川崎写真師会
神奈川県クリーニング生活衛生同業組合川崎北支部連合会
川崎個人タクシー協同組合
川崎第一個人タクシー協同組合
川崎自動車整備協議会
川崎提灯装飾業組合
一般社団法人 川崎市鍼灸マッサージ師会
川崎美容組合
川崎市美容連絡協議会
川崎市理容協議会
全日本みやうち着付士技能者の会
川崎着付士協会

川崎洋装組合

職種名／洋裁師

代表者／理事長 山田 ます

設立日／昭和39(1964)年9月1日

- 電話番号／044-522-6947 FAX／044-533-3978
- 所在地／川崎市幸区下平間255

川崎洋装組合は、昭和39(1964)年9月に創立され、会員51名でスタートしました。

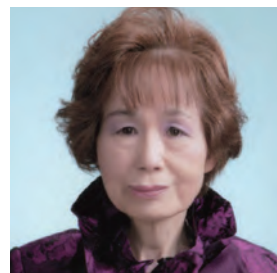
当時の川崎労働会館で、創立記念式典が開催され、初代理事長を選任するとともに、神奈川県洋装組合連合会に加盟しました。

昭和40(1965)年には、職業訓練法の規定により、指導員免許取得講習会を開催、参加しております。

昭和48(1973)年7月に、川崎市技能職団体連絡協議会の発足とともに、同協議会に入会しました。

今までに先輩組合員の方々は、技能功労表彰を受賞されるなど、歴代の理事長方の努力と、組合員の皆様の協力により充実した組織として発展しております。

組合員の洋裁教室合同修了式などの開催、作品コンクール、技連協婦人部・青年部への加入、市民祭りなどの行事への参加などの活動をしてきました。



理事長 山田 ます



川崎洋装組合
創立50周年記念および賀詞交歓会



技能職者に学ぶ講座(中学1年生)



てくのかわさき ものづくり体験教室
(裁断風景)

これまで、川崎マイスター認定制度では、3名認定されており、活発な活動が認められてきました。

最近では、組合員の高齢化もあり、少人数となりましたが、川崎市の事業の1つである「技能職者に学ぶ」講座などで、市内の中学校に会員が派遣されて、生徒たちと直接交流しております。

この講座では、洋裁の基礎であるボタンの付け方、3種類のまつり方などの講習、ミシンを使って巾着袋、エコバッグ(A4サイズ)を生徒達自身に作ってもらっています。



てくのかわさき ものづくり体験教室
(ミシン掛け風景)

また、小学校3年生以上のお子さんを対象に、「夏休みものづくり体験教室」にも参加しています。

子供たちの喜んでいる姿を見て、指導している私達も嬉しく、教え甲斐を感じています。

技能検定試験(1級から2級洋裁技能士)の検査員を務めることや、各講習会への参加により、技術レベルの向上を図るとともに、課題の後継者育成に励んでいます。



川崎洋装組合 装 ロゴ



てくのかわさき ものづくり体験教室(小学生)



てくのかわさき ものづくり体験教室
(ミシン掛け風景)



てくのかわさき ものづくり体験教室
(リメイクしたカバン)



てくのかわさき ものづくり体験教室
(リメイクカバン完成お披露目)

神奈川県和服裁縫協同組合 川崎支部

職種名／和裁師

代表者／支部長 内田 さえ子

設立日／昭和25(1950)年1月6日

- 電話番号／044-777-0560 FAX／044-799-0244
- 所在地／川崎市中原区上小田中2-42-3

当団体は、明治22(1889)年8月に発足した神奈川県和服裁縫協同組合に属しており、技連協には川崎支部として加盟させていただいています。

和服を仕立てる事をなりわいとしています。反物を問屋、専門店、呉服屋、個人等から預かり、反物生地のカ断から縫製まで全て手作業で行います。かなりの技術が要求され、取得には5年ほどかかると言われています。

着る人の体に合うように工夫を凝らして心を込めて仕上げた着物は、お召しになった方から「着心地がいい…」とのお声を頂いています。

社会の変化に伴い、日常に着物をお召しになる姿を見ることが少なくなり、特別な日・晴れの日の装いになって来ています。

しかしながら最近では若い人達や外国の方達が和服を楽しんでいるのを散見します。それぞれの方法で大いに和服を楽しんで欲しいと思います。

また、親子代々で大切な着物を仕立て直ししながらお召しになる傾向も見られます。そして、そのような仕事も多くなりました。

古来和服は、幾度も仕立て直しながら着られるように布のカ断を最小限にしています。その中で着やすいように、いろいろ縫製に工夫を凝らします。仕立て直しながら2代3代に渡って同じ布で作った着物を大事に着続けられることは、SDGsそのもののようには思います。

その時々の変化を取り入れながらこの貴重な技術、手仕事を引き継いでいきたいと思っています。

ご多分に漏れず後継者が減少しています。中学生の職業体験(「技能職者に学ぶ」)、お祭り(てくのまつり等)等を通して、広く職業への興味と理解が得られ第一歩となることを願いながら諸行事に参加しています。

最後に、日本の伝統文化継承の一翼を担っていることを光栄に思っています。



神奈川県和服裁縫協同組合の印半纏



神奈川県和服裁縫協同組合 ロゴ



和服縫製に使う道具。
裁ち台、鋏、へら、鯨尺のものさし、電器鋺等



技能職者に学ぶ



技能職者に学ぶ

川崎市食肉商業協同組合

職種名／食肉技術師

代表者／理事長 上野 好一

設立日／昭和22(1947)年10月16日

- 電話番号／044-233-1986 FAX／044-233-8654
- 所在地／川崎市川崎区砂子2-8-1 シャンボール互恵ビル903
- メールアドレス／kawasakisyokuniku1986@nifty.com

川崎市食肉商業協同組合は昭和22(1947)年10月16日、食肉小売販売業を営む方々が川崎市民へ安心安全なお肉を供給するため、また組合員の福祉共済などの相互扶助、経営及び技術の改善向上を図るため設立されました。

戦後、経済は高度成長期へ発展するにつれ食肉消費量が増大し食肉の需要も大幅に増えました。食肉販売店舗も川崎市内に地域店舗として消費者に慣れ親しまれ定着すようになりました。現在も各店舗固有の「コロッケ」「メンチ」は地域の人気商品として愛されています。

組合は衛生管理・HACCPの推進を各店舗を指導し消費者に安心安全なお肉の提供を実施しています。組合店舗は学校給食事業に従事し衛生管理を徹底し約122学校にお肉を納品しています。

また毎月29日は「肉の日」として各店舗は特売日としお安くお肉の提供を行い、抽選による食肉ギフト賞品をプレゼントしています。

全国共通の「お肉のギフト券」を各店舗で発行しお肉の贈答に使用されています。

地域交流として料理教室を開催し、お肉の美味しい食べ方、作り方を教えています。またイベントとして東扇島の日本食肉流通センター主催のミートピア、川崎市民祭りに参加し、肉の試食や販売を行い地域の交流を深めています。また地域の小学生が先生の引率のもと店舗にて「お肉の生産から食す」までの流通の話や、お肉の種類の話をし店舗店主が食の重要性や生き物とのかかわりを丁寧に説明しています。



毎年10月、幸区役所一帯で実施される「幸区民祭」に参加



毎年2月、てくのかわさきで実施する「料理セミナー」



毎年2月てくのかわさきで開催される「てくのまつり」に参加



毎年10月、東扇島の日本食肉流通センターで実施の「ちくさんフードフェア」に参加



毎年11月に川崎競輪場・富士見公園一帯で開催される「川崎市民まつり」に参加



令和4年12月23日上野理事長と須山副理事長が
川崎市より永年特別功労者表彰受賞

川崎市菓子協議会

職種名／製菓技術師

代表者／会長 山中 誠

設立日／昭和28(1953)年4月1日

- 電話番号／044-811-2804 FAX／044-811-2836
- 所在地／川崎市高津区溝口1-6-1 クレール溝口3F 川崎商工会議所内
- メールアドレス／takatsu@kawasaki-cci.or.jp

地域の皆様に寄り添い、日本の伝統文化である和菓子を「未来」へ

PRポイント

和菓子は日本が誇る食文化を代表し、豊で美しい自然、四季の移ろいと共に暮らしてきた日本人に愛され続けている伝統食品です。人生には、素晴らしい記念日がたくさんあります。職人が、ひとつひとつ丁寧に作りあげる和菓子は、五感の芸術とも呼ばれ、古くから折々の人の時に、心通わせる存在として広く親しまれています。「目で見て楽しい、食べて美味しい和菓子の伝統を未来に繋げたい」そのような想いで川崎市菓子協議会は活動しています。

地域とともに70年

川崎市菓子協議会は、昭和28(1953)年業界の発展と技術・経済・社会的地位の向上を目的に設立した、70年以上の歴史を持つ地域密着の和菓子屋の組合です。地域の皆様に寄り添い、和菓子の魅力が多くの方に届くよう活動しています。毎年11月に行われるかわさき市民祭りでは、つくたての餅に餡やきな粉をまぶし販売しており、当日は、多くの皆様にお越しいただき、人気を集めています。来場の際は是非お立ち寄りください。



健康で美味しい和菓子の発信

和菓子は材料として豆類、穀類を主としており、特に小豆は豊富な栄養を含み近年、健康食品として世界で注目されています。それら和菓子を通じた食育と日本文化の啓蒙を目的として、青年部が中心となり学校や地域での菓子教室等に参加しています。更に、活動の範囲は国内にとどまらず、国外への発信を目的とし、アメリカ大使館での試食会を開催しました。今後も、当協議会の国境や世代を超えて、多くの皆様に和菓子の魅力を発信します。

これからの50年地域に向けてできること

昨今、和菓子屋は、経営者の高齢化や後継者不在により廃業を余儀なくされる店舗が増えています。しかしながら、和菓子の特性である春夏秋冬を彩る魅力は、日本人にとって切っても切れない強い結びつきがあります。これまで地域の皆様の人生の節目に寄り添ってきたように、これからの50年、そしてその先も川崎市菓子協議会の活動を通じて、皆様に真心込めた和菓子をお届けしたいと思います。是非、ご家族や友人と過ごすかけがえのないひと時に、和菓子をお召し上がりください。



川崎市パン協同組合

職種名／製菓技術師

代表者／理事長 金指 昭二

設立日／昭和25(1950)年12月28日

- 電話番号／044-233-4807 FAX／044-244-1393
- 所在地／川崎市川崎区宮本町3-12 ナインブルーランジェ川崎101

川崎市パン協同組合の歴史

組合設立総会 昭和25(1950)年12月5日 開催
出席者数48名

旧事務所建設の承認 パン協ビルの建設

昭和26(1951)年1月19日 理事会に諮り承認される
同年1月27日 旧事務所建設の契約締結
同年3月20日竣工予定
同年3月21日事務所落成式を挙行 招待者数150名



令和6年賀詞交歓会

学校給食会の動き

昭和28(1953)年4月 学校給食主管変更の報告
同年7月 学校給食協力会運営に関する件の報告
昭和29(1954)年3月29日 理事会・神奈川県学校パン協同組合連合会加入の件
同年5月27日 学校給食法案国会通過報告
昭和30(1955)年8月24日 川崎市学校パン協同組合 設立

変遷と現在のmission

戦後の食糧困難の時代に川崎市内のパン製造業者が、パン製造に係る原材料を共同で調達する目的で設立されました。設立後間もなくして文部省の指導による学校給食がスタートすることとなりました。当初は、川崎市パン協同組合の組合員の一部が学校パンの給食事業にも参画していましたが、学校給食法が制定されたことに伴い、昭和30(1955)年8月24日に川崎市学校パン協同組合が分離独立しました。

学校パン事業に参画しない者は、そのまま川崎市パン協同組合の組合員として存続し現在に至っています。学校パン事業を行う者は、両組合に所属するかたちで現在に至っています。

時代の移ろいとともに食生活のスタイルも一変し、パンが日常生活の中で主食となる中、原材料の自由取引が拡大することにより大手企業の参入が容易となってきました。これにより地元に根付いたリテールパン製造業者のテリトリーが狭まる傾向が見え始め製造業者の数も減少の一途をたどり、共同購入の目的も徐々に薄らぐ傾向となりました。

こうした状況が続く中、当組合は、長い歴史の中で先達の築いた資産をこれからも守り続けることが課せられた使命であるため、資産の有効活用を図るとともに、組合員の永遠の繁栄を期して一丸となって精進しています。

川崎市中央中華料理組合

職種名／調理師

代表者／会長 鬼塚 保

設立日／昭和42(1967)年12月吉日

- 電話番号／044-244-4888 FAX／044-211-3507
- 所在地／川崎市小川町2-11 成喜

川崎中央中華料理組合60周年以降も含むあゆみ

昭和31(1956)年9月 成喜、三鶴、大連の三者で同業者の親睦を深める目的で「川崎中央餃子舗組合」として発足。初代組合長は、成喜・鬼塚 勝氏。当時の川崎駅は木造の駅舎で、京浜急行も高架ではなく二つの線路で町は遮断され、さらに路面電車やトロリー・バスが行き交うという時代でした。

昭和42(1967)年12月 神奈川県中華料理業環境衛生同業者組合創立と共に「川崎中央支部」創立。当組合初代組合長 鬼塚 勝ほか6名が県組合創立に出席。

昭和43(1968)年1月 組合名称変更：川崎中央餃子舗組合を「川崎中央中華料理組合」に改め現在に至る。

昭和53(1978)年11月より 「かわさき市民まつり」に連続参加、出店し消費者に謝恩の啓蒙を行っています。

昭和58(1983)年 初代組合長 鬼塚 勝氏の死去に伴い、2代目組合長・三鶴・神崎 弘氏就任。

平成18(2006)年9月 川崎中央中華料理組合50周年祝賀会開催 会場：熱海 聚楽にて、組合員、来賓総勢48名に参加いただきました。

平成19(2007)年7月 組合有志18店舗で川崎の新たな名物として「餃子」を広くアピールし地域の活性化に役立ちたいという思いから「かわさき餃子舗の会」設立。初代会長として成喜・鬼塚 保氏就任。



平成21(2009)年7月 餃子専用だれとして「かわさき餃子みそ」発表、発売。

平成29(2017)年9月 「2017全国餃子サミット&全国餃子まつりinかわさき」開催 川崎競馬場にて来場者数10万人のイベント。これを機にさらに「餃子の街!?かわさき」が浸透する。

平成29(2017)年11月19日 川崎中央中華料理組合創立60周年記念祝賀会を煌蘭川崎店にて開催。組合員15名、県役員5名、商社3名来賓2名の合計25名に出席いただきました。

平成30(2018)年4月 川崎中央中華料理組合2代目組合長の神崎弘氏退任し、3代目組合長に鬼塚 保氏就任。

令和元(2019)年8月 「2019年全国餃子まつりinかわさき」開催 8月24日(土)25日(日)の2日間、川崎競馬場広場にて45,000人を動員した。

令和3(2021)年10月 川崎市立川崎高校の生徒さん達に提案頂いた「かわさき餃子みそ200ml」を発売。

川崎石材商工業組合

職種名／石工

代表者／組合長 金井 周悟

設立日／昭和47(1972)年8月1日

- 電話番号／044-944-3502 FAX／044-945-2259
- 所在地／川崎市多摩区菅稲田堤2-10-1 (有)金井石材店

〈石材店とお墓について〉

石器時代の昔より、石は昔から人に身近な素材として様々な形で使われてきました。

その身近な素材を扱う石材業界と一口にいても、範囲はとても広く、石材産地で石を採掘する業者もあれば、産した石を製品に加工する業者もあります。もちろん本組合加盟業者のように、町場に店舗を構える石材店もその一部を構成する存在です。

町場の石材店の仕事内容としては、建物の壁面への張り石や敷石・石塀などの建築工事、また寺社仏閣の灯籠や鳥居などの建立工事、そしてお墓をつくる建墓工事などが挙げられます。そしてそれらの中でも墓地に関わる仕事の割合は、変わらず大きいものがあると言えるでしょう。

そのお墓に関する仕事について考えますと、昨今では様々な情報があふれ、人々のお墓に対するイメージは従来からは大きく変化をしてきていると思います。葬送の方法や建墓の選択肢は多様化するとともに、お



お墓相談会



技能職者に学ぶ



川崎市営合葬墓



川崎市営緑ヶ丘霊園

墓を不要と考える人も以前より多くなってきているのは否定できません。また、種々の社会的要因からお墓を承継することに不安を感じる人も増え、結果としてお墓じまいと称する墓地の解体撤去の事案も増加傾向にあります。

しかしこれは、お墓を建て故人の供養をしたいと願う人が少数派になったということではありません。市営霊園を例にとっても新規応募者は変わらず多く、抽選倍率はとても高いもので推移しています。実際にお墓を建てる方々からは「安心した」「建墓して供養ができ本当に良かった」という感想をいただくことが多いのも紛れもない事実です。

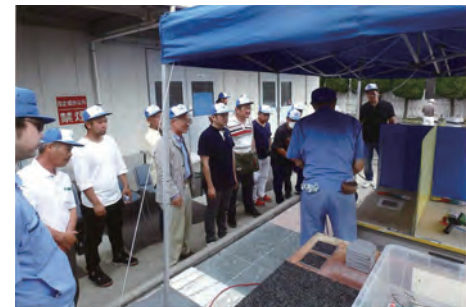
いまの社会情勢を鑑みるに、我々町場の石材店は従前のようにお墓を建てることに終始するだけでは時代に取り残されてしまうでしょう。また、いかに必要なこととはいえ、お墓の意義や大切さをやみくもに訴えるだけでは生活者への訴求効果に欠けるであろうと考えます。

まず、正しい知識と情報の取得をベースとして、お墓に関する不安を

抱える生活者に親身に向き合い、その人にとって何がベストの選択なのかを共に探っていくことが大切なのではないかと思います。

〈川崎石材商工業組合について〉

川崎石材商工業組合は昭和47(1972)年8月1日に川崎石材商工業協同組合として発足しました。その後に協同組合を外し「川崎石材商工業組合」として今日に至っております。



磨き作業講習会



検定講習会

本組合は川崎市内業者で構成されており、組合員相互の親睦を図り、事業の情報交換や関連事項の研修等を実施し、相互の繁栄に寄与してまいりました。また、毎年のじん肺検診や研修旅行、必要に応じて組合員の技術向上を目的とした講習なども実施しております。

また最近では数年来にわたって川崎市と定期的な市営霊園に関する意見交換会を開催し、その関係性の強化を図りつつ、現場を一番に知るものとして随時課題や問題点の投げかけを継続しております。

私たちは今後も市や指定管理者のよきパートナーとして、川崎の墓地行政に資する提案などを行い、市民の皆様の要望に応えられる地元の石材組合として活動してまいります。

川崎建設労働組合連合会

職種名／建築関係技能士

代表者／会長 今井 紀好

設立日／昭和30(1955)年5月18日

- 電話番号／044-233-3947 FAX／044-233-4022
- 所在地／川崎市川崎区宮前町8-13 大幸ビル201
- メールアドレス／kawaren@sage.ocn.ne.jp

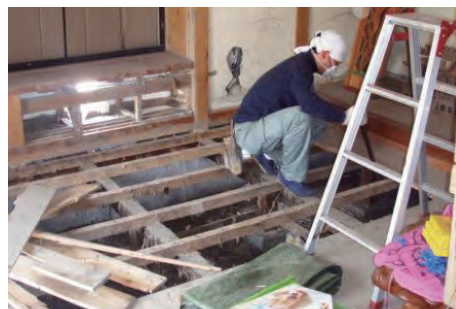
【川連と技連協の歴史】

川崎建設労働組合連合会(略称・川連)は昭和30(1955)年5月に結成され、組織数約700人からスタートし、令和5(2023)年5月には約5,800人を組織する川崎市内最大の建設組合となりました。

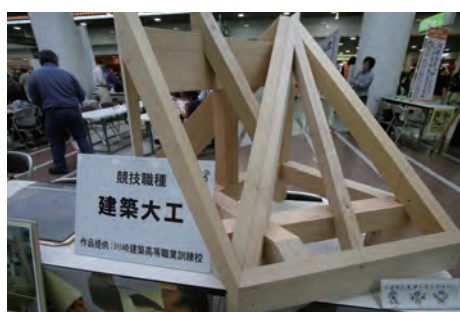
当時、日雇い健康保険擬制適用の廃止に伴う「神奈川県建設連合組合国民保険組合」の設立運動や重税闘争を中心に運動をすすめ、建設技術・技能者を組織してきました。

昭和48(1973)年に川崎市技能職団体連絡協議会(略称・技連協)が発足し、川連会長であった相川 誉が初代技連協会長に就任。以降、川連は技連協とともに技能・技術の促進と発展に尽力を注いできました。

川連は来年で70周年を迎えます。先輩たちが築いてきた川連という組織の歴史を改めて学び、すべての建設技術・技能者が全産業並みに生活できる建設産業を目指すことで、新時代の建設青年たちの未来を担保する組織への発展を目指しています。



床下復旧



アゼリアイベント技能五輪

【技術・技能の促進と仕事確保運動】

川連の運動の中心は建設技術・技能者の社会的地位向上と処遇改善です。資格や経験があっても仕事がなければ、その技術・技能を十分に発揮できません。川連の仕事確保運動は革新市政とともに発展してきました。

ひとつは川崎市住宅相談運営委員会の発足です。市民の住宅ニーズを区役所で相談活動をして委託団体による業者紹介システムを確立。市内建設組合の組合員が登録することで市民の住宅に関する不安要素を解消することに尽力を注いでいます。

もう一つは、かながわ生活協同組合(現生活協同組合ユウコープ)との事業提携です。消費者により近い生活協同組合との住宅分野の事業提携は当時、画期的な発想と事業展開でした。さらに、市内建設組合と労働組合、医療従事者らとともにNPO法人を発足して、指名入札への参加や要介護者の住宅改修の助成金を活用した取り組みを進めてきました。

また、川連の加盟組合では職業訓練校が2校存在します。ひとつは川

崎建築労働組合に併設している建築大工の職業訓練校「川崎建築高等職業訓練校」です。設立以来の修了生は800人を超え、「住み手に優しい」住宅の建築を目指して、地域へ優秀な技能者を送り出してきました。卒業生は工務店経営者あるいは技能労働者として活躍しています。

もう一つは加盟組合である川崎北部建職連合組合に併設している「川崎北部建職高等職業訓練校」です。当初は3年制の夜間コースでしたが、現在は短期訓練で二級建築士受験準備講座を行っています。



技能職者に学ぶ

【これからの50年、地域に向けてできること】

近年、阪神淡路大震災をはじめ東日本大震災、熊本地震、能登半島地震、豪雨災害などの自然災害が発生するなかで、川崎市でも記憶に新しい令和元年台風19号は甚大な被害をもたらしました。

これらの経験を活かすために、地域に根ざす建設組合の力が試されています。発災後の支援活動の模索や防災訓練など「市、民、組合」が協同した地域防災システムの政策提言など、今後起こりえる災害の備えと動ける組織づくりの協同を進めていければと考えます。

川崎建築労働組合

職種名／建築関係技能士

代表者／組合長 井口 康明

設立日／昭和30(1955)年2月8日

- 電話番号／044-222-4447 FAX／044-233-1352
- 所在地／川崎市川崎区藤崎1-13-27
- メールアドレス／infomail.kawakenrou.jp
- ホームページ／www.kawakenrou.jp

結成70年 川崎建築労働組合

昭和29(1954)年、「正月に一杯飲んで、一年の用は済んだといった組合ではこれからの時世についていけない」と当時の大工の仲間たちが本格的な組合づくりに動き出しました。

昭和30(1955)年2月8日に大工職130名で川崎大工労働組合を結成。昭和44(1969)年に名称を川崎建築労働組合とし、大工職以外の建設業従事者にも広く加入を呼びかけました。現在では1,650名をこえる仲間が加入しています。

現在に至るまで、「建設労働者の社会的地位向上と処遇改善」や「社会保障の改善」など、組合員の仕事とくらしを守るための活動を行っています。

地域とのつながりを 住宅デーと夏休み親子工作教室

「地域住民のみなさんに職人の仕事や技能を理解してもらいたい」と、大師公園で住宅デーを開催しています。工作教室や住宅相談、包丁とぎ、小屋組みの披露などをおこない、来場されたみなさんに喜んでい



ただいています。

毎年、川崎区と幸区の小学校で「夏休み親子工作教室」を開催し、子どもたちに工作の楽しさを伝える取組も行っています。木工作では、のこぎりや金づちの正しい使い方を教え、お父さんやお母さんと一緒に作品を作り上げてもらいます。タイル工作では、それぞれが考えてきたデザインにあわせて割ったタイルを貼ってもらい、仕上げて組合の職人が隙間に目地を詰めてきれいに仕上げます。親子でチカラをあわせてがんばる過程が良い思い出になっているようです。

技術を守り継承する 職業訓練校と「技能職者に学ぶ」

川崎建築高等職業訓練校は、昭和35(1960)年に開校しました。住み手に優しい住宅の建築を目指し、地域に優秀な技能者を送り出してきました。伝統工法の技を学び、向上させる当訓練校の修了生はこれまでに800名を超えています。当時は夜間の3年コースでしたが、現在は2年間となり、毎週土曜日に1日かけて授業を行っています。今年は63期生が入学します。川崎から建築大工の訓練校の灯を消さないために、

これからも引き続き募集を行っていきます。

中学生を対象に行う、「技能職者に学ぶ」にも職業訓練校の講師や生徒などが参加しています。担当校は大師中学校や田島中学校、南河原中学校など。大工の仕事について知ってもらうため、ミニチュアの道具箱の工作キット作成、鉋削り、座学などを行っています。



川崎建設一般労働組合

職種名／建築関係技能士

代表者／組合長 山路 義幸

設立日／昭和45(1970)年9月25日

- 電話番号／044-211-2508 FAX／044-211-2609
- 所在地／川崎市川崎区榎町2-4
- メールアドレス／ipan@green.ocn.ne.jp
- ホームページ／<https://www.kawaken1.pr.jp>

●PRポイント

川崎建設一般労働組合(通称:一般労組)は、建設業で働く人であれば、一人親方、職人、事業主を問わず誰でも加入できる個人加盟の組合です。鳶や左官、電工や板金工など様々な職種の仲間が加入しているのが特徴です。組合結成時に掲げた『万人は一人のために、一人は万人のために』のスローガンをモットーに、3Kと言われた建設業界から変えていく力の一步になれるよう、働く仲間と地域に暮らすみなさんと共に取組を前に進めていきます。

●川崎の地で結成して53年

一般労組は、昭和45(1970)年9月、政治的・経済的・社会的地位の向上を図ることを目的に結成しました。

当時はわずか28名の小さな組合でしたが、現在は1,150名が加入する組織へと発展しました。

一般労組では、健康保険、労働保険(労災・雇用)、共済、工事保険などの各種保険や、資格取得、税金・法律・不払い相談などの業務を



「物価高騰からくらし守れ」仲間の声を届けます



建設業の未来を担う青年部の仲間たち



住宅デー、初めて使う左官のコテにはしゃぐ子供たち



役員研修会を開催「一致団結ガンバロー!」

扱っています。

また、賃上げや社会保障を守る運動、アスベスト被害の根絶、労働者の処遇改善を求めて県や市、企業に対し要求運動を行うなど、仲間の生活と仕事を守るために取り組んでいます。

●建設職人の後継者育成、技能・技術を伝えるために

タイルモザイクや銅板レリーフなどの工作を通じて、子供たちに「ものづくり」の楽しさを体験してもらうために地元小学校で「夏休み親子工作教室」を開催しています。組合員が講師となって、金づちの使い方を教えたり、セメントの目地詰め体験をしてもらうなど、職人さんの仕事を知ってもらい、建設産業の魅力アップ、後継者育成に取り組んでいます。

大師公園などで開催している「住宅デー」では、地域貢献として無料住宅相談や、包丁研ぎ、まな板削り、子供たちに喜んでもらう取り組みとして珪藻土手形体験も行っています。

●これからの50年地域に向けてできること

異常気象によって年々深刻さを増す大雨・台風被害や、近年予想されている巨大地震など、災害発生時の建物の応急仮設や修繕、障害物の除去には建設職人の力が不可欠です。もしもの事態が起きた時に備え、神建連傘下の組合では「まちの救助隊」を結成し神奈川県と災害協定を結んでいます。家族や仲間、地域の皆さんの生活や住まいを守れるよう、助け合える仲間を一人でも多く結集し、一般労組をより大きな組織に発展させていきます。



主婦会では「ぬか漬け教室」や「入園グッズ手作り会」を開催しています



現場で流す汗が報われる建設産業を目指して

川崎中部建設労働組合

職種名／建築関係技能士

代表者／組合長 佐藤 浩史

設立日／昭和46(1971)年1月23日

- 電話番号／044-722-4445 FAX／044-722-4459
- 所在地／川崎市中原区今井上町1-22
- メールアドレス／t-ken@isis.ocn.ne.jp
- ホームページ／<http://tyubu.or.jp>

技連協設立50周年に寄せて

川崎中部建設労働組合は約1,150名の建設業従事者から成り、大工や左官、電工など、建設業に携わっていれば誰でも加入することができる労働組合で、川崎建設労働組合連合会を形成する組合の1つです。

私たちは、組合の先人達が作ってくれた建設国保や労災保険特別加入制度を活用して日々の生活や仕事に安心して打ち込めるようにしながら、建設業従事者の処遇改善と地位向上のため、日々活動をしています。

また、地域に根付いた組合として小学生に木材に触れる楽しさを知ってもらう「夏休み親子工作教室」や、住宅相談をメインに包丁研ぎやバザー等を行う「住宅デー」を開催しています。住宅デーではベテラン組合員から若手に包丁研ぎ技術の継承も行われました。

技連協の行事では、「技能職者に学ぶ」に、中原区の玉川中学校や幸区の南河原中学校、日吉中学校で建築大工職の講師として参加しました。



建築大工の使う道具に触れてもらうためにイスの工作キットを用意し、実際に組み立ててもらいました。「木を切る」「釘を打つ」という2つの作業の繰り返しで完成させられるキットではありますが、実はそれが意外と難しかったりします。

両刃のノコギリには縦挽きと横挽きがあること、引くときに切れることを説明するも、実際に作業に入ると縦挽きの刃で横挽きしていたり、押すときにまで力を入れていたりする生徒さんもいました。

釘を打つことに関しても、節に打ってしまって割れてしまったり、斜めに打ってしまい飛び出してしまったりする中で「節は割れやすいから釘を打つときに節に当たらないように切ろう」「釘はここまでまっすぐ打てばもう曲がらないから最初だけ慎重に打とう」など熟練の大工職による適切なアドバイスによって、どの生徒さんもきれいに仕上げてくれました。

参加した組合員は「最初は完成させられるか不安だったけど、みんなアドバイスを素直に聞いてくれてセンスのいい子はすぐにコツを掴んでくれた。この中から1人でも、2人でも、大工とは言わないけど家を建てる仕事を志してくれると嬉しい」と語ります。

建設業は衣・食・住の「住」に関わる、人間生活に欠かせない大切な仕事です。そんな建設業が抱えている深刻な問題の一つに「後継者不足」という問題があります。その原因はキツイ、キタナイ、キケン（3K）がまだ解消しきれていないことや賃金が低いこと、週休二日制が取り入れられていないことなどが挙げられます。

「技能職者に学ぶ」を通じて建設業に興味を持ってくれた若者が現実を見て踵を返してしまわないように、工期よりも安全が優先され、仕事は大変でもそれだけの見返りが得られるような、夢のある建設業を目指して活動を続けていきます。



川崎北部建職連合組合

職種名／建築関係技能士

代表者／組合長 勝間田 忍

設立日／昭和30(1955)年8月15日

- 電話番号／044-833-7551 FAX／044-833-7692
- 所在地／川崎市多摩区堰1-18-17
- メールアドレス／mail@hokubukenshoku.or.jp
- ホームページ／http://www.hokubukenshoku.or.jp

川崎北部建職連合組合は、昭和30(1955)年8月に川崎市北部、主に高津区、多摩区、麻生区、宮前区の建設従事者たちによって創立された、建設従事者のための組合です。

川崎北部建職は、建設国保、労働保険、工事保険、建設業退職金共済、税金相談など建設で働く仲間の命とくらしを守るために、課題や仕事の悩みを共有し合って改善していく仲間の集まりです。

技術技能の分野では、昭和44(1969)年に川崎北部建職職業訓練校を設立しました。

当初は、3年制の夜間コースとして大工養成訓練を行ってきました。現在は、短期訓練で二級建築士の養成講座を行っています。訓練校を通して多くの組合員が資格、技能を身につけて活躍しています。

川崎市技能職団体連絡協議会との関わりとしては、「技能職者に学ぶ」を通して地域の中学校において、主に大工職の技術・職業体験を行っています。

近年若者の就業者が減少傾向にありますが、少子高齢化が進む日本において、建設業界全体が持続的に発展していくためには担い手となる若者が不可欠です。

地元の建設業者・建設で働く仲間は、街づくり・住人のいのちと暮らしを守る重要な役割を果たしています。技能継承、後継者育成は、若い世代が安心して就労できる建設業界にすることが求められています。

技連協の活動を通して、技能継承、後継者育成の取組の発展に貢献していきたいと思います。



組合長 勝間田 忍



川崎北部建職高等職業訓練校



川崎北部建職高等職業訓練校



技能者に学ぶ



技能者に学ぶ



技能者に学ぶ



技能者に学ぶ

横浜建設一般労働組合川崎支部

職種名／建築関係技能士

代表者／委員長 多田 安春

設立日／平成23(2011)年1月19日

- 電話番号／044-751-9096 FAX／044-766-6162
- 所在地／川崎市高津区子母口848-5
- メールアドレス／kawasaki@kensetu-yokohama.jp
- ホームページ／<http://www.kensetu-yokohama.jp>

横浜建設一般労働組合川崎支部(略称、建設横浜)は、建設横浜の支部内で唯一川崎市内に組合事務所を構える、組合員498名(令和5(2023)年7月1日現在)の小さな組合支部です。

組合のルーツは、川崎建築労働組合の鶴見支部から独立し、単組となった神奈川県東部建設労働組合(略称、東部建設)です。その東部建設の川崎支部として、昭和41(1986)年に川崎市高津区の組合員自宅2階を間借りし、最初の事務所が開設されました。次に約20年経過後、武蔵中原駅近くの民家で、1階を元カフェとして使っていたスペースを賃貸契約し、新しい事務所としました。

そんな歴史をもつ川崎支部の夢は、ちゃんとした会議ができる自分達だけの城を、組合事務所を建てることでした。

平成20(2008)年5月に3単組の合流で建設横浜となった東部建設は、鶴見支部と川崎支部に分かれることになり、現在の建設横浜川崎支部が誕生しました。その後は、新事務所を構えるために労働組合法人として登記したり、東部建設からの財産按分を話し合ったり、新事務所建設のための準備を進めていきました。



平成25(2013)年3月、新事務所落成式の様子



平成25(2013)年2月、技能職者に学ぶの様子
(現山本会長が応援にきてくれました)



平成20(2008)年11月、技能功労者等表彰式の様子



平成28(2016)年12月、多摩区役所での
住宅相談展示会イベントの様子

そんな中、当時の支部長が高津区子母口の尻手黒川道路沿いのお得な土地を発見し、すぐさま役員会で検討の末購入を決めました。

それから支部組合員内で建設業者を募集し、設計、大工、電気、重機など多くの職種の組合員が新事務所建設工事に協力してくれ、平成25(2013)年2月18日念願の組合事務所(木造2階建て)が完成しました。同年3月31日に川連や神奈川土建川崎市協など川崎の建設労働運動を共にする各関係団体を来賓に招き、新事務所お披露目会(落成式)を開催し、組織として新たなスタートを切りました。



平成29(2017)年11月、川崎市民まつりで
無料住宅相談に協力の様子

その後も新しい事務所を、近所に住まう川崎市民にもアピールするため、毎年、住宅デーと年末に包丁研ぎとまな板削りを開催してきました。包丁研ぎは毎年、リピーターになる人が増えており、お近くの市民

の方にも、「高津区子母口の尻手黒川道路沿いにある事務所は、建設組合なんだ」と少しは認識してもらえたのではと考えています。

今後も安定した500名以上の組合支部を維持していくと共に、毎年、参加している技能者に学ぶを始めとした技連協の活動にも可能な限り協力し、組合員一人一人に細やかな気配りのできる、川崎市内に根ざした組合運営を心掛けていきます。



平成29(2017)年6月、住宅デーにてまな板削りの仕上げでカンナ掛けの様子



令和元(2019)年7月、東小倉小学校の工作教室で、イス作りで最後にニス塗りの様子



平成15(2003)年5月、第29回技連協ボウリング大会で団体の部3位入賞の記念写真

神奈川土建一般労働組合 川崎支部

職種名／建築関係技能士

代表者／執行委員長 野村 澄夫

設立日／平成8(1996)年6月16日

- 電話番号／044-355-0456 FAX／044-355-9230
- 所在地／川崎市川崎区渡田1-11-14
- メールアドレス／kawasaki@kanagawa-doken.or.jp

○神奈川土建一般労働組合川崎支部の紹介

神奈川土建一般労働組合は、神奈川県内に20支部ある建設業で働く仲間の労働組合です。

川崎支部は、川崎市内の川崎区、幸区に住んでいる建設労働者で構成され、令和6(2024)年3月1日現在、約1,600名が加入しております。

建設労働者の処遇改善を目指して、国会や大手企業への交渉、駅前での宣伝、署名活動などを行っております。近年、若い建設労働者が減少しており、改善のために賃金上昇や、アスベスト被害対策などを求めています。

○顔の見える地元の建設職人をアピール「住宅デー」

また、地域との交流も積極的に行っております。毎年6月には住宅デーを行って、地域の住民と包丁とぎ、や網戸の張替えなどを通じて、建設職人の存在を知ってもらっています。「自分の家を直したいが、誰に頼んだらよいかわからない」「最近、悪徳商法をする業者がいるので、不安」という声にこたえております。



毎年の「夏休み親と子の工作教室」では子供たちの工作教室を指導しています。職人たちの指導で、立派な木工工作が完成しました。



毎年12月の太平洋戦争開始の日に開催される集会には参加して「戦争のない平和な社会」を訴えています。

そのような声にこたえて、私たちは、住宅デーを開催して、「顔の見える地元の建設職人」を知ってもらう努力をしています。

○夏休み親と子の工作教室で技術の継承を

毎年、地元の小学校で、「夏休み親と子の工作教室」を開催しています。木工工作やモザイクタイルの工作を通じて、建設職人の技術をお子さんに教えています。最近では、家庭でノコギリや金槌を使う機会が減っています。毎年の工作教室では、子供たちとお父さん、お母さんが一生懸命、工作を作っており、私たちが思い出作りに貢献しています。

○みんなが安心して平和な社会を

私たちは、建設労働者の組合ですが、すべての人が安心して平和に過ごせる社会のために活動しています。広島や長崎で開催される原水爆禁止世界大会には毎年代表者を派遣して核兵器のない、また、戦争のない社会を目指しています。ウクライナ戦争や能登半島震災の際には、川崎駅前では宣伝をして募金を集めました。さらに毎年3月に東日本大震災が

あったことをきっかけに始まった「さよなら原発集会in川崎」にはお店を出して、イベントの成功に貢献しています。



毎年3月に開催される「原発ゼロINかわさき」に参加して、原発のない社会の目指すため奮闘しています。



毎年、川崎市内の公園で「住宅デー」を開催しています。
住まいの相談がありましたら、地元の建設職人の組合「神奈川土建川崎支部」にご相談を

神奈川土建一般労働組合 川崎中央支部

職種名／建築関係技能士

代表者／執行委員長 小林 秀朋 設立日／昭和47(1972)年10月1日

- 電話番号／044-865-7936 FAX／044-865-5924
- 所在地／川崎市高津区向ヶ丘21-17 コア川崎
- メールアドレス／k_tyuuou@kanagawa-doken.or.jp

建設業で働く仲間とともに歩み続けて、50年。

神奈川土建は、昭和47(1972)年9月に結成。そのルーツは、戦後混乱期の昭和22(1947)年、建設労働者が「生きるためのたたかい」で連帯して立ち上がった、東京土建の結成にまでさかのぼります。その綱領を引き継ぎながら、組織の居住地別再編成の方針にもとづき、埼玉、千葉に続いて東京土建から分離独立。神奈川の地でたくさんの仲間を増やし続けて、令和4(2022)年には結成50周年を迎えました。

結成当時は川横・湘南・相模原の3支部からスタートし、組合員はわずか1,329人でした。しかしその後、仲間の力を集めた大衆運動の前進でさまざまな問題を解決しながら、「1人はみんなのために。みんなは1人のために」を合言葉に組織を拡大し、今では20支部2万8千人の仲間が集まる県下最大の建設労働組合へと発展しました。全建総連(全国建設労働組合総連合)の組織数の中でも、神奈川土建、東京土建、埼玉土建、千葉土建で全体の人員の5割近くを占めて、活動の一翼を担っています。

今日、建設産業は大変に厳しい時代を迎えています。大企業優遇、国民・中小企業に犠牲を強いる政治は限界点に達しています。だからこそ、私たちは「建設業で働く仲間の砦」として、明日を希望の明かりで照らすべく、全力で活動しています。

また、神奈川土建の制度は、大組織であることのスケールメリットによって、本人・家族ともに充実した給付の「建設国保」や、国の認可を受けた労働保険事務組合、県内最高水準の「どけん共済」制度など、仕事とくらしを支えるさまざまな制度を充実させており、多くの仲間がいるからこそ支え合い、大きな安心を届けています。

組合運動の取り組みとして、安全で快適に働ける現場環境、そして毎日を安心してくらすことのできる賃金は、働く本人だけでなく、家族のみなさんにとっても欠かすことができません。神奈川土建はじめ首都圏の建設労働組合では、仲間の組合員の声を集め、大手住宅・建設企業と年2回の定期的な交渉などをおこない、現場で働く人たちの要求を勝ち取る取り組みを続けています。

より働きやすく、明日の希望が持てる建設産業をめざして、ともに歩みませんか。建設業で働くみなさんの加入を、心から呼びかけます。



技能職者に学ぶ



技能職者に学ぶ



技能職者に学ぶ



令和5(2023)年1月29日神奈川土建川崎中央支部50周年式典の様子

神奈川土建一般労働組合 川崎西支部

職種名／建築関係技能士

代表者／執行委員長 大崎 宏

設立日／平成10(1998)年6月1日

- 電話番号／044-931-3336 FAX／044-931-3337
- 所在地／川崎市多摩区中野島3-23-28 リバーサイド多摩1F
- メールアドレス／k_nishi@kanagawa-doken.or.jp

建設で働く者の命、暮らし、営業を守る運動を展開
地域に根差した組合として市民の皆さんと共に歩みます

神奈川土建には、建設国保を始め、労働保険、大型総合共済、建設キャリアアップシステム登録など建設業の仲間をバックアップする制度が数多くあります。また、建設技能者の社会的地位の向上や賃金引上げの取り組みも行っています。

住宅相談センターを立ち上げ、市民の皆さんの「お困りごと」に対応しながら、町場建設業の再構築を目指しています。

○川崎に神奈川土建が誕生して50年

神奈川土建が川崎市に誕生したのは、昭和47(1972)年10月22日の結成大会です。全市で一つの支部、川崎支部として活動をスタートしました。なお当時の組合員は313人でした。

私達の支部は、平成10(1998)年5月に多摩市民館で結成大会を行い、川崎中央支部から「川崎多摩支部」(活動エリアは多摩区)として



住宅デーで市民の相談



アスベスト被害をなくそう!地域への宣伝行動

432人で独立しました。そして平成28(2016)年5月には、川崎中央支部の麻生分会の仲間が合流して、「川崎西支部」(活動エリアは多摩区・麻生区)を結成しました。現在900人の組合員が所属しています。

建設の仲間を結集して、大きな組合を作り、建設で働く者が報われる社会を作ろうと先輩たちが組合を作って50年。現在3支部で4100人を超える組合になりました。

これからも建設で働く者の地位向上を目指して奮闘する決意です。

○地域とともに歩む組合を目指します

神奈川土建では、建設業のアピールと将来の建設業の後継者づくりを目的に「夏休み親子の工作教室」に取り組んでいます。昭和62(1987)年に、当時の川崎支部が2校で始めたのが第1回目。建設組合が小学校で実施する



公契約条例適用現場で宣伝



地域建設業者と川崎市との懇談



秋のレクリエーション・地引網大会

スタイルは全国初の取り組みでした。2年間新型コロナのため実施できませんでしたが、昨年再開して今年で35回目。令和5(2023)年度は12校で185人の児童が参加しました。

また、地域の皆さんの住宅のお困りごとに対応するために、毎年「住宅デー」を開催。そして、日頃より対応できるようにするため、平成30(2018)年4月に川崎西支部住宅相談センターを設立しました。6年で340件の相談を受け付けています。



令和5(2023)年実施の夏休み親と子の工作教室
(東菅小学校)



○これからの50年地域に向けてできること

私たち建設業は地域の皆さんに支えられて仕事をしています。また災害時には、真っ先に復旧や復興に立ち上がる必要があると考えています。平成31(2019)年2月には防災協力事業所に認定されました。そして、平和であることが何より大切であると思います。

そのため、住宅相談活動や災害対策の取り組み、平和を守り発展させる運動を強めて、地域に皆さんから頼られる組合にするために頑張ります。



技能職者に学ぶに参加(王禅寺中央中学校)



住宅相談センター設立して5年



組合員を増やす運動、拡大月間を
毎年春と秋に取り組んでいます

首都圏建設産業ユニオン 神奈川支部

職種名／建築関係技能士

代表者／執行委員長 菅谷 義和

設立日／昭和25(1950)年10月9日

- 電話番号／045-943-8941 FAX／045-943-8961
- 所在地／横浜市都筑区仲町台1-34-3 サニー・ウィステリア203
- メールアドレス／kanagawa@kensetu-union.jp

首都圏建設産業ユニオン(以下、建設ユニオン)は建設業に従事する「職人」が運営している建設労働組合です。

仕事や暮らしに必要な、健康保険、労働保険、一人親方労災、仲間の助け合いである組合共済をはじめ、建設キャリアアップシステム登録と現場運用、能力評価制度のレベルアップ判定申請、企業評価制度の申請、資格取得、建退共などの処遇改善や、法定福利費、36協定、就業規則、有給休暇取得義務化などの事業所対策、様々な制度政策、有給実現の運動で、建設で働く仲間の仕事と生活をサポートしています。

活動の中では、後継者対策や技術技能の継承を目的とした取組も行っており、木工教室などで、子どもにものづくりの楽しさ、職人の技能を感じてもらう取組も長年行ってきました。

建設産業は、後継者不足、建設業への入職者の減少が喫緊の課題となっています。建設産業で働く仲間の労働環境の改善を図り、持続可能な建設業の実現に向けて、取組を進めていきます。





フロンターレ応援観戦会



フロンターレ応援観戦会



建設ユニオンでは、バス旅行などのレクリエーションも盛んに行い、組合の仲間の関係づくりに力を入れています。
 昨年は、バス2台で山梨方面に行きました。組合での仲間のつながりから、多くの仕事の助け合いの関係にもつながっています。



工作教室

中原建設連合会

職種名／建築関係技能士

代表者／会長 近藤 俊昭

設立日／昭和37(1962)年5月7日

- 電話番号／044-751-4311 FAX／044-751-4304
- 所在地／川崎市中原区下小田中2-5-10

当連合会は中原区エリアを中心に鳶・大工・左官・板金・建具・瓦・畳・塗装など建設業関係の技能士のプロの集まりです。

我が国では風水害や震災などが絶えない状況ですが、当連合会では災害に強い安心安全で快適な住まいを提供できるよう日々取り組んでおります。一方で、若者の職人離れが深刻化するとともに担い手の高齢化も進んでいます。我々が笑顔の絶えない快適な住環境を守っていることを広く発信することで建築技能士の魅力を次世代に伝えていくことも使命と感じております。

われわれは今後も安定して高い技能と技術で「住」サービスを提供できるよう加盟者一人一人がさらに技に磨きをかけお客様の満足度を高めてまいります。

川崎市板硝子商工業組合

職種名／ガラス職

代表者／理事長 倉持 弘義

設立日／昭和5(1930)年4月吉日

- 電話番号／044-822-2790 FAX／044-822-3416
- 所在地／川崎市高津区二子2-4-16 倉持硝子建材
- メールアドレス／gutslhiro@docomo.ne.jp

この組合は、板硝子及び関連する業者の相互協力により経営及び技術の改良を図るとともに、経済的及び社会的地位の向上と組合員相互の親睦を図る事を目的としています。

「あれは、仲良しの集まり」と業者からの指摘を耳にいたします。ここで誤解がないように当親睦組合を紹介致します。

現在、川崎市内に5つのブロックがあります。

定例理事会では、各代表理事さんが自分と異なる意見を尊重し合い、互いに学びながら、さらなる発展を目指して活動しています。

理事さん始め、多くの組合員の活躍により、90年以上の実績がある歴史の深い希少な親睦団体といえます。

仕事内容等

窓のガラスは、日差しの暖かさや明るさを取り入れたり、外の風景を映し通したりし、また雨や風を凌ぐ生活空間に欠かせないものです。しかし、あまり話題にされず目立たないのは、ガラスが薄く透明だからでしょうか。

改めて、私たちの仕事内容の一部を紹介させていただきます。

窓に復層ガラス(間に空気層等があるため単板ガラスの約2倍の断熱効果を発揮します)窓に使われるガラスにも、求められる断熱性能に応じてさまざまな種類をご用意できます。

既設の窓額縁に樹脂内窓を設け、断熱性を高め室温の温度差を減らし、結露の発生を抑えます。遮音性や冷暖房効率も高め"家計にやさしく"節約できる工夫もご提案。

早急対応、ガラス破損(突然)修繕など、私たちプロの知恵と技術力で対応致します。

ーメッセージ(団体の想い)ー

新型コロナウイルス感染症が蔓延し緊急事態宣言で社会情勢は一転しました。当親睦組合の活動につきましては、総会開催の自粛、年間事業の中止や延期。不要不急や三密で顔と顔を合わせられない行動制限状況に陥ってしまい、親睦重視の活動は大変難しいものとなりました。また、新型コロナウイルス流行がいつ終息するのか予測不可能な現状。退会者も出て不安な声上がるなか、相次ぐ原料高騰に伴う取引先からの、価格値上げ改定の案内連絡に営業業務の厳しさを実感しました。

しかし、令和5(2023)年コロナウィルスも5月に感染法上の第5類に分類され、徐々に本来の組合活動に戻り始めることができるようになり、理事と知恵を絞りながら取り組んでいます。

苦しく辛い時期を皆さんと乗り越え、今後の更なる組合の発展のため、盛り上げて行きたいと思います。



新年会記念撮影

川崎市左官業組合連合会

職種名／左官職

代表者／会長 川田 繁

設立日／昭和36(1961)年

- 電話番号／044-813-4688 FAX／044-813-2622
- 所在地／川崎市高津区二子1-7-30

歴史と伝統の技能を継承するわが左官業組合

昭和57(1982)年、奈良県山田寺の回廊の一部が発掘されました。これは日本最古の建築物である法隆寺よりも古い建築物です。

この回廊の腰壁には、桧の小割材を格子状に組んだ木舞(こまい、壁下地)に土壁を塗りさらに白土で上塗りされたものでした。約1350年前のこの当時すでに本格的な左官工事が行われていたのです。

その後、消石灰が製造され、また海藻の粘着材(つのまたのり)を用いた漆喰壁が登場してきます。これが日本の誇る城郭建築・土蔵造りの美しく優雅でしかも防火的な白壁(はくあしらかべ)へと発展してきます。

一方、茶室建築では、わび・さびを重んじることから素朴で飾り気のない土塗壁が起こり、さらに数寄屋建築にと発展します。そしてこれらが、現代の和風住宅の日本壁・京壁・聚楽壁・大津壁等へと受け継がれているのです。

明治以後、西洋の新材料・新工法が移入し、左官の仕事も多種、多様にわたっています。左官塗り壁の仕事は機械化することができず全て手作業です。したがって一人前の職人となるにはそれなりの修行と訓練が必要となります。技能保持者として社会的に認められた人が1・2級技能士で、1・2級技能検定試験に合格しなければなりません。私達の組合の大きな事業のひとつに、毎年技能検定受検者の講習会を開催し、役員一同熱心に指導にあたり、多くの技能士を輩出しています。

また、『神奈川県技能コンクール』には毎年代表選手を送り常に好成績を修めています。『てくのかわさき技能フェスティバル』では、焼き石工による「手形押し」と荒木田土を丸く固めて石灰クリーム仕上げで作る「光る泥だんご」の体験ブースを出店し、子供たちの人気の的となっています。

私達組合員一同、伝統ある技能を継承し、さらに技能の向上と研鑽に励み市民の要求に応じて行きます。



技能検定の練習

この写真は、技能検定一級、二級の資格を取るための練習の作業です。

施工順序①墨出し、②墨打ち、③ちり塗り、④きりつけ、⑤中塗り、⑥上塗りの順序です。

仕上げは、決まりの寸法があります。技能検定にむけて合格するために努力しております。

川崎市造園建設業協同組合

職種名／造園工(植木職)

代表者／理事長 井上 雅博

設立日／昭和45(1970)年12月17日

- 電話番号／044-246-9286 FAX／044-246-4365
- 所在地／川崎市川崎区東田町4-12 モーリ・イソノビル3F
- メールアドレス／kawasoukyo@mx1.alpha-web.ne.jp

みどり豊かなまちづくりと、造園文化の継承と発展を目指して50年。皆様の生活を豊かにするみどりを守り、育む活動を続けてまいります。

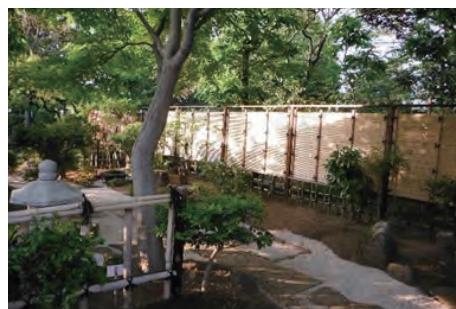
■造園の仕事

造園は、公共空間である公園や個人邸の庭などの緑地を、一から作っていく仕事で内容は多岐にわたります。デザイン・設計から始まり、測量や地盤を作る造成工事、高低差に合わせて擁壁を作ったり、雨水の排水などを行う土木工事、高木や中低木などの植物をその場の適性に合わせて植栽し、その後は成長に合わせて剪定を行ったり、石などの自然物やベンチなどを設置したりと、幅広い知識と感覚が求められる仕事です。

街づくりにおいても、都市緑化の充実と景観の向上のために、街路樹や公園緑地を整備して美しく保つことも、造園に欠かせない仕事であり、そこに暮らす人々の生活に潤いと安らぎを与えるものです。

■活動内容

昭和45(1970)年の組合設立から50年、当組合では組合員と共にさまざまな活動を行ってまいりました。



組合員がボランティアで改修した日本庭園



安全パトロールを実施



さまざまな技術研修会を開催

造園文化の継承と組合員の技術力向上のための勉強会、安全意識高揚のための安全大会の開催と安全パトロールの実施。また日本各地の有名な庭園や歴史的建造物を見学するなど、親睦を兼ねた視察研修旅行も実施しております。

また川崎市への要望として、市役所前のイチョウ並木などの街路樹を、統一美により都市の魅力向上を促進するよう働きかけを行っております。

平成18(2006)年には川崎市と「災害時における応急対策を行うための協定」を締結し、震災などの大災害時に限らず、台風などの荒天時に、街路樹が倒木するなどの被害が出た際には昼夜を問わず対応できる体制を整えております。



川崎大師で5年ごとに行う植木供養祭

昨今の担い手不足はどの業種でも課題になっていますが、造園業においても後継者不足・担い手不足の解消は重要な課題になっています。市内の中学校で行う出前授業「技能職者に学ぶ」への協力や、まちかど緑化推進事業など、造園の魅力発信とイメージアップに向けた活動にも取り組んでおります。

令和6年(2024年)の川崎市市制100周年事業として開催される「全国都市緑化かわさきフェア」に向けて、川崎市と協力して当組合も万全の体制で準備を進めております。



全国都市緑化仙台フェアを視察



紅葉した市役所通りのイチョウ並木

■これからの50年地域に向けてできること

情緒ある日本庭園やお洒落なイングリッシュガーデン、緑豊かな公園や、夏の街路樹の木陰や秋の紅葉など、私たちの身近にある緑のある風景は、生活に潤いと安らぎを与えてくれます。衣食住に絶対に必要なものではないけれど、それがないと豊かな生活を送ることができない。身近にある緑はそんな存在です。

その緑を作り育むのが私たちの仕事です。これまでの長い年月に培われてきた日本の造園文化という伝統を継承し、これから先の50年100年と、守り続けていくことが私たちの使命です。そしてそれが環境を守り、地球を守ることだと信じております。これからも、みどり豊かなまちづくりに尽力するとともに、造園技術の継承と、造園文化の発展に向けた活動を行ってまいります。

一般社団法人 神奈川県造園業協会 川崎支部

職種名／造園工(植木職)

代表者／支部長 井上 雅博

設立日／昭和49(1974)年7月26日

- 電話番号／044-755-4666 FAX／044-755-2253
- 所在地／川崎市中原区上新城2-7-11 (株)井上植木
- メールアドレス／jun@zo-en.co.jp
- ホームページ／<https://kanagawazoen.or.jp/>

一般社団法人への移行に伴い、心を新たに
造園技術の発展と街の緑の未来を守ります

神奈川県造園業協会川崎支部は、昭和49(1974)年7月に社団法人神奈川県造園業協会の一支部として設立されました。支部では、業界の労務セミナーの開催や、造園事業者の技術向上のため各種講習会を開催し、人材養成にも努めています。

川崎市は、世間的に工場のイメージが強く、「空気の悪い都市」というイメージが根強く残っております。私たちは、みどりの専門家として造園技術の向上と都市環境の整備、都市緑化の推進を図り、みどり豊かな川崎市の発展に向けて様々な活動を行っております。みどりの果たす役割が益々高まる中、多年にわたる庭園・緑地の整備や造園修景に関するこれまでに蓄積した技術・経験を基にみどり豊かな美しい環境づくりの担い手として期待されるよう努めて参ります。



技能者に学ぶ 平中



樹勢回復講習



神奈川県造園業協会ロゴ



神奈川県造園業協会
ホームページ

神奈川県造園業協会川崎支部は、平成25(2013)年4月1日に本部である社団法人神奈川県造園業協会の一般社団法人移行に伴い心を新たに、川崎市のみどりを守り、育て、共生していける環境作りと共に、技術の進展に対応した協会の構造改善と技術の研鑽を図りつつ、川崎市のみどり豊かな地域づくりに貢献してまいります。



川崎大師での植木供養

川崎畳組合

職種名／畳職

代表者／組合長 元木 正巳

設立日／昭和24(1949)年5月吉日

- 電話番号／044-911-4156 FAX／044-911-4156
- 所在地／川崎市多摩区登戸2220-3 元木畳店
- メールアドレス／support@tatami-net.com
- ホームページ／tatami-net.com

私たち「川崎畳組合」は、日本の伝統を守り、技術で創るプロ集団です。会員36名と青年部(いぐさ会)で組合事業に取り組んでおります。

夏は涼しく、冬は暖かい畳で、お客様の地域の環境衛生を守る、あなたの街の畳屋として頑張っております。

畳は日本の気候風土に適した敷物です。湿度が高い時には畳1枚あたり約500ccの水分を吸湿し、乾燥してくれるとその水分を放湿してくれると言う調湿機能や、二酸化炭素等を吸着する浄化機能のおかげで暮らしやすい環境を作る事が出来ます。

また会員全員傷害保険に加入しています。(法律上の賠償責任が生じる事が前提条件)

例えば、

- ・畳の搬出入作業中に、誤ってお客様の壁を壊してしまった。
- ・納入した畳に針が残っており、お客様にケガを負わせた。

もちろん、そのようなことのないように細心の注意を払い、丁寧に作業を行わせていただいておりますが、万が一の時でも保険が適合されます。

皆様、安心して川崎畳組合加盟店にお任せください。



畳組合ロゴ



技能フェスティバル



技能研修会①



技能研修会②

生活様式が変わり、和室そのものは減ってはいますが、今ではカラフルで、デザイン性にも富んだ畳が出てきており、自分の好みに合った方法で畳を使う事が出来ます。また、置物用や、フロアに合わせて畳そのものの大きさを調整することもできます。

川崎畳組合では、技能フェスティバル、それぞれ地域の区民祭、技能職者に学ぶ等、川崎市技能職団体連絡協議会の主催する事業に参加し、畳の良さを市民の皆様へ伝える活動をしていきます。

川崎畳組合では、蓄積された技術を生かして、今の生活ニーズにフィットした製品開発を目指しております。

また、会員同士の情報交換として、毎月定例会を開催し、新しい技術やお客様の御要望を共有して、研修、勉強会を通じて技術向上を目指していきます。



技能研修会③



技能研修会④



技能職者に学ぶ



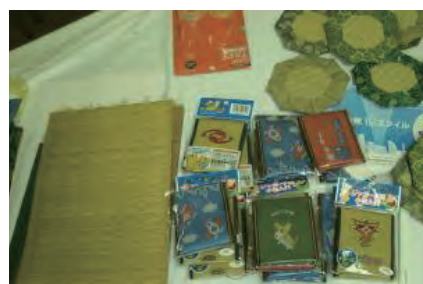
区民祭①



区民祭②



市民まつり



小物①



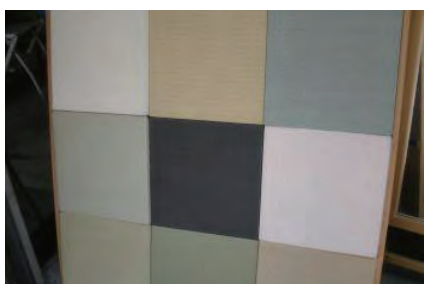
小物②



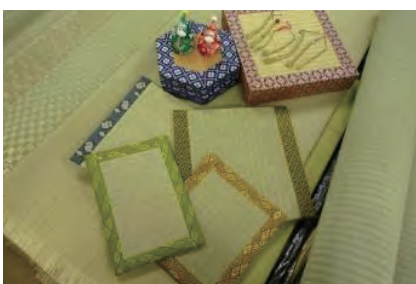
小物③



小物④



畳



畳小物

川崎建具業組合

職種名／建具職

代表者／組合長 鈴木 幹雄

設立日／昭和27(1952)年4月1日

- 電話番号／045-581-7156 FAX／045-574-2360
- 所在地／横浜市鶴見区矢向4-23-17 鈴木建具製作所
- メールアドレス／honbu@kawasaki-kojin.or.jp

1 仕事内容

建具店の仕事内容としては、事業所によって異なりますが、以下の内容を実施しています。

1. 木製建具製作・取付け
2. 造作建具製作・取付け
3. 障子製作・取付け(紙の張替も請け負っています。)
4. 襖製作・取付け(紙の張替も請け負っています。)
5. アルミサッシの商品

2 令和6年度 川崎建具業組合名簿

組合長	鈴木建具製作所	横浜市鶴見区矢向4-23-17
	鈴木 幹雄	045-581-7156 045-574-2360(FAX)
顧問	大野建具店	川崎市川崎区榎町8-10
	大野 武道	044-233-0778 044-233-0748(FAX)
	大野 博道	
会計監査	秋元建具店	川崎市中原区北谷町29
	秋元 久芳	044-511-6816
会計監査	山本建具店	川崎市川崎区台町18-4
	山本 剛功	044-288-1533 044-276-5246(FAX)
会計	黒澤建具店	川崎市幸区下平間96
	黒澤 靖雄	044-522-6013 044-555-4826(FAX)
	北島建具店	川崎市川崎区観音2-3-5
	北島 治	044-266-8670 044-266-8672(FAX)
	(有)コミット	川崎市川崎区四谷上町7-3
	石川 佳保	044-288-2597 044-266-6014(FAX)
	(株)福島工業	川崎市川崎区日ノ出1-5-7
	福島 光男	044-271-1355 044-271-1356(FAX)

川崎古式消防記念会

職種名／とび職

代表者／会長 木村 政彦

設立日／平成12(2000)6月10日

- 電話番号／044-511-3641 FAX／044-511-3641
- 所在地／川崎市幸区下平間119

川崎古式消防記念会は、川崎市在住の主に鳶工事業を営んでいる会員で構成されています。仕事としては、鳶工事・解体工事・コンクリート工事など、建築・建設に関わる仕事を主としています。

川崎古式消防記念会の前の組織名は、川崎鳶工業連合会、及び並行する川崎古式消防纏保存会という組織名でした。

川崎古式消防記念会は平成12(2000)年6月10日より現在の名称になり今日に至っております。昭和28(1953)年ごろ川崎地区・御幸地区・田島地区・大師地区の4地区で川崎鳶職組合ができ、その後中原地区・高津地区・多摩地区が参加して川崎鳶工業連合会が結成されました。

また、川崎古式消防纏保存会は1番組から7番組まであり、1番組は川崎中央地区、2番組は幸地区、3番組は田島・大島地区、4番組は大師地区、5番組は中原地区、6番組は高津地区、7番組は多摩地区となっていました。各番組には組頭がいて、それを補佐する副組頭、小頭、筒先、纏・梯子という階級があり、筒先以下は道具中と呼ばれます。道具中は、木遣纏振り・梯子の練習をして川崎消防出初式に備えます。

新年の始まりは、消防出初式で始まり、次に1月10日の大杯の儀があります。今年1年一致団結して職務の遂行に当たることを誓う儀式です。また、2月には各神社・お寺で豆まきや、夏には各神社の祭礼での出行などがあります。

我々の先人達が残してくれた物が川崎大師平間寺の聖徳太子堂のとなり纏魂碑(とうこんひ)という石碑です。江戸時代より脈々とつながる奉仕の精神を受け継ぐことです。纏魂碑には、川崎古式消防纏保存会の当時の約200名前後の名前が刻まれているのが分かります。令和6(2024)年2月に石碑のところに消防記念会の芳名板が加わりました。

また、となりの聖徳太子堂の年祭が2月22日に行われ、梯子乗りの奉納を行います。また、道具中は交通災害遺児に対して約50年前より募金活動を行い、一千万以上の募金を行いました。

記念会員が色々な活動の中で活躍されることを願います。



祝賀の集い



技能功労者表彰式

川崎市内電気設備業連絡協議会

職種名／電気技能士

代表者／代表 鈴木 和彦

設立日／昭和56(1981)年4月1日

- 電話番号／044-833-3424 FAX／044-812-0115
- 所在地／川崎市高津区久本3-3-301 神奈川県電気工事工業組合高津地区本部内
- メールアドレス／shindentakatu@denkoutakatu.jp

川崎市内電気設備業連絡協議会は、昭和56(1981)年4月1日 市内の神奈川県電気工事工業組合川崎地区本部、高津地区本部、川崎北地区本部3地区本部と(一社)川崎市電設工業会の4団体の参加により設立され本年で42年を迎え、現在230社の組合員を有する団体です。当団体の事務局は、川崎・高津・川崎北地区本部にて2年毎の輪番制にて担当することになっておりまして令和5年(2023)度から6(2024)年度は高津地区本部が担当となります。

神奈川県電気工事工業組合は、県民の皆さまに電気工事を通じて、電気の「安心・安全」をお届けすると共に県下の中小電気工事業者の地位向上を図ることを目的としております。

その目的達成のために組合は傘下組合員の資質向上に向けて様々な教育、指導、情報収集、調査研究等の事業を展開しております。

(一社)電設工業会は、川崎市に本社を置く電気工事業者の団体であり、川崎市に安全、安心の電気設備の供給を確保できるよう日々技術の向上を目指し種々の研究会、研修会を積極的に計画、立案、実施をし、市民の皆さまに理解を深めていただけるよう啓蒙活動を推進しております。また、公的機関との連携により、災害時等による、緊急事態への対応のため、川崎市との「災害時における応急対策をおこなうための協力に関する協定書」に基づく「災害時応急対策協力隊」の組織を構成しており、地域社会のなかで重要な役割を担っております。

また、加盟している川崎市技能職団体連絡協議会の活動の一つである後継者育成事業の「技能職者に学ぶ」においては、講師を派遣し市内中学校にて電気工事の仕事内容、エコ照明、LED等の紹介を含めた講義の他実技指導として延長コードの製作を指導しております。講習会修了後講習に参加された生徒さんからお手紙をいただき、講師の方々から喜ばれております。

電気のない世界は考えられない世の中です。技術はある日突然生まれてくるものではなく日々の努力の積み重ねの上に成り立つものであり、技術の進歩が目覚ましい業種のため、これだけ覚えれば仕事ができるというものではなく、常に新しい技術を学んでいかなければなりません。組合員の資質向上が地位向上となり、引いては組合が県民の皆さまから更なる信頼をお寄せいただけるものと確信いたします。

地域社会のために、地域の皆さまと共に明日の繁栄に向かって力強く進んでまいります。



第二種電気工事士筆記試験受験準備講習会



技能職者に学ぶ「延長コード製作」

一般社団法人 川崎塗装業協会

職種名／塗装技能士

代表者／会長 柴崎 務

設立日／平成23(2011)年5月10日

- 電話番号／044-276-8788 FAX／044-276-8798
- 所在地／川崎市川崎区宮前町8-18 井口ビル101
- メールアドレス／kawatokyo@onyx.ocn.ne.jp

前身である(社)川崎塗装工業会発足時より約40年、塗装及び塗装業の経営に関する調査・研究を行い、塗装の技術及び塗装業の経営の改善向上を図り、塗装工事の円滑な施工と塗装効果の改善を通じて公共の福祉の増進に寄与し、また社会貢献活動等の実施により、公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

主な活動としては、塗装に関する講習会、研究会等の開催などを行っています。

人手不足解消に向けた取組

市内中学生を対象とした塗装に関する技術の体験学習の実施

団体の取組

災害時における応急対策

市民まつり参加

奉仕塗装

CSR活動

会員及び行政職員を対象とした講習会

(職種)を目指すには

技能の習得

メッセージ

発注者の要求に応える



技能職者に学ぶ

川崎市塗装協会

職種名／塗装技能士

代表者／会長 野村 昇

設立日／平成12(2000)年4月1日

- 電話番号／044-977-1244 FAX／044-976-8050
- 所在地／川崎市多摩区中野島3-16-15 野村塗装店
- メールアドレス／tosokyokai@gmail.com
- ホームページ／https://kawasaki.mypl.net/mp/girenkyo_shokai_kawasaki/?sid=10120

川崎市塗装協会は、昭和35(1960)年創設の川崎北部塗装組合が発展し、昭和47(1972)年川崎西部塗装組合に改称、平成12(2000)年4月川崎市塗装連合会の解散を期に組織を引き継ぎ、川崎市塗装協会に改称し現在に至り通算60余年の長い活動の歴史を誇ります。

会員の多くは、市内で古くから地域に根ざした塗装業を長く営んできた者で、経験豊富で信頼いただける会員で構成されています。

活動目的としては、「建物の価値を維持向上させると共に、周辺環境と家庭生活の快適さと調和を図るべく、住宅やビルその他の建物の塗装・防水工事とその付帯工事を行い、加えて美しい空間演出を意図することを目的として、事業を行っています。

経験と技術が要求されるプロの仕事として、自動車塗装や工業塗装とちがって一般生活住宅やビルなどの建物の塗装は、機械化・自動化できない、個別に人手で対応しなくてはなりません。それだけに下地づくりから、塗装の方法、塗料の適切な選択、実際の塗り方まで個別対応の人手主体の仕事ですので、なかなか一律に単価が決められないものです。

最近では塗装のみならず、塗替に付随する設備や内装等の工事も併せて施工可能な技術者集団ですので、それぞれの職種に依頼するより施工管理もスムーズに行なう事が可能になります。まさに経験と技術が要求されるプロの仕事だと自負しています。加えて、地域のお客様を相手とする仕事だけに手を抜かないことを第一と心掛けています。

塗料と技術の進歩に合わせて、日々スキルアップを心がけ、他の業界も同じですが、塗料も日進月歩で、例えば暑さを緩和する遮熱塗料から、シックハウスに象徴される公害の出ないエコ・天然素材の塗料、耐久性のある品質のものも開発され、それに伴う高度な塗料の技術が要求されます。塗装に関して建築塗料は多種多様で塗料メーカーの数も多く、塗装の方法や塗料の選択は経験と知識が必要で、ベテランの建築関係者でも簡単に手の出せない作業と言われる専門の職種です。川崎市塗装協会では会員のレベルアップに努め、塗料メーカー各社の担当者を招いて各社の塗料についての研修会や、技能士資格取得についての研修支援も行っています。



神奈川県工業塗装協同組合

職種名／塗装技能士

代表者／理事長 石川 政男

設立日／昭和37(1962)年10月吉日

- 電話番号／045-548-9341 FAX／045-548-9342
- 所在地／横浜市神奈川区台町13-11 ヒルトップ横浜206
- メールアドレス／info@kipa.jp
- ホームページ／www.kipa.jp

神奈川県工業塗装協同組合は神奈川県において工業塗装加工を行う事業者を組合員とする専門技術者(企業)集団です。金属製品等に腐食・劣化防止などの製品保護、色彩・模様などの美装、抗菌・脱臭などの機能性付与を目的とした塗装加工を行っています。工業塗装技術は高度な専門技術として発達し、工業製品には不可欠であり、重要産業のひとつとして国のサポイン(ものづくり基盤技術)に指定され、産業・生活のあらゆる分野に欠かせないものとなっております。

技能検定・実技講習会
伝統の技の継承を見据えて

昭和38(1963)年に労働省に金属塗装に係る技能検定国家試験の実施団体として認定され、昭和40(1965)年より神奈川県から、金属塗装(S45より噴霧塗装が追加)の技能検定実技試験の実施を受託されています。検定は年一回毎年夏(7月頃)に受検者100名以上の規模で実



総会・理事会



検定・実技講習会



県立東部校の技術指導



県庁展示

施します。合格者は「技能士」を称することができ、技術力の高さを認められます。技能士を世に輩出することにより、塗装という「巧」を受け継ぐ若い力の育成にも貢献しております。

また、個人技術の向上を目的とした実技講習会を開催しております。

神奈川工業塗装まつり・塗装技能コンクール
技術の研鑽のみならず業界PRにも貢献

塗装技能の研鑽とレベルアップ、勤労意欲の向上と人材育成を目的とし、平成4(1992)年から毎年開催し、第33回を迎えます。個人として技術・技能を試し、展示会場で他の技能者の作品をみることにより、技術力を客観認識し、出品者同士が相互に切磋琢磨するきっかけになっています。それが業界全体のレベルアップに繋がっており、塗装業界の知名度を高めています。その功績により、国、神奈川県、横浜市、川崎市などからのご後援、様々な企業からのご支援をいただき、行事を継続しております。

これからの50年地域に向けてできること

工業塗装は、地域の人々の生活を支える基盤である鉄道や道路、公共施設、電気・ガス・水道、通信網などのあらゆるものに施工され、耐久性向上や色彩を通じて美しい街並みや豊かな生活の実現に貢献してきました。この使命をこれから実行してゆきます。さらに工業塗装の技術を向上させ、それを次世代の若者に継承していきます。また、その工業塗装の原材料や作業工程で「カーボンニュートラル」を実現して、地球環境を守り、持続可能な地域社会の実現にも貢献していきます。



技能検定 実技試験会場



塗装技能コンクール

川崎市管工事業協同組合

職種名／配管技能士

代表者／理事長 中嶋 栄一

設立日／昭和29(1954)年8月11日

- 電話番号／044-222-7700 FAX／044-222-1050
- 所在地／川崎市川崎区宮本町5-5
- メールアドレス／hasegawa@kawakan.org
- ホームページ／<http://www.kawakan.org>

団体歴史：

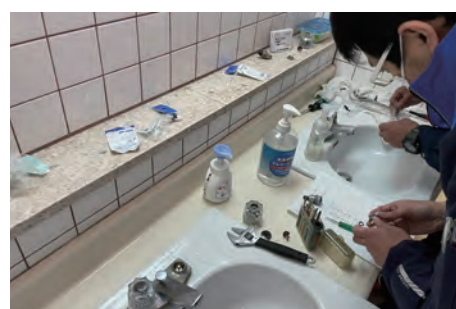
昭和29(1954)年8月、組合員数35名により川崎市公認水道事業協同組合として設立。

昭和38(1963)年に川崎市公認排水設備協同組合と合併し、川崎市公認管工事業協同組合となり、上下水道を取り扱う現在の組織となる。

昭和40(1965)年に組合活動の拠点となる川崎市管工事会館を川崎区宮本町5番地5に建設、昭和44(1969)年中原区宮内に出張所を建設。平成10年に従来の公認制度から指定制度への移行に合わせ組合名を現在の川崎市管工事業協同組合に変更。

団体紹介：

令和6(2024)年に組合設立70周年を迎え記念事業等を予定している。現在の組合員数は113名、主な事業としては、共同購買事業、路面復旧事業、共同受注事業等を行っている。平成7(1995)年1月17日に発生した阪神大震災においては義援金を寄託するとともに2月5日には阪神大震災応援復旧第1次隊を派遣し、2月27日までの間第5次隊にわたり応援復旧隊を派遣し、神戸市内の水道復旧工事等を行う。



平成10(1998)年4月、官公需適格組合証明取得、平成14(2002)年10月、川崎市上下水道局と災害協定を締結、平成16(2004)年12月、川崎市と全国の政令市では初となる消費者支援協定を締結、平成23(2011)年に発生した東日本大震災、平成28(2016)年の熊本地震においては義援金を寄託した。

PR活動等：

近年、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、PRイベントが軒並み中止となっていたが、本年ようやく中原区で開催されるみずみずフェアに参加し、市民に対し水回りの修繕に関する相談窓口開設や修繕工具の配布、修繕受付フリーダイヤル等を記載したマグネット、クリアファイル、エコバック等を配布しPR活動を行った。

技連協関係では、市内

の学生を対象とした後継者育成事業を実施して、技能の継承を行っている。また、組合青年部では、毎年市内の老人いこいの家のパッキン交換、排水不良改善、水量調整、点検等の修繕ボランティアを行っており、施設管理者や利用者の方々から感謝の言葉をいただいている。

平成25(2013)年6月、川崎市防災協力事業所に登録、宮内出張所を一時避難場所として提供するとともにペットボトル水や応急給水用ポリタンクを備蓄、令和4(2022)年には、かわさきSDGsゴールドパートナー認証登録。市の各地域の自主防災組織等を対象とした応急給水訓練や応急給水拠点の開設に係わる組立・給水研修等、災害時を想定した訓練を行っている。



組合の未来：

今般、後継者不足により廃業される方が多い中、業界を変えるために、業界の社会的認知度・イメージの向上、若者や女性が働きやすくなる労働環境(休日確保や給与等处遇改善)、技術技能の向上のためのサポート、災害時等緊急時の応援体制の強化等の対応が求められている。

長きにわたって川崎市とともに歩んできたライフラインのプロフェッショナルとして、災害時において万全な復旧対応や市民の皆様が安心安全に暮らせるよう市民サービスの向上、技術技能の向上を心がけ、さらなる発展を目指し、川崎市の水を守って行きたいと思います。

川崎板金業組合

職種名／板金技能士

代表者／組合長 島永 義治

設立日／昭和38(1963)年11月3日

- 電話番号／044-277-8373 FAX／044-277-8373
- 所在地／川崎市川崎区大師町14-9
- ホームページ／http://www.kanabankin.jp/pc/_sub/branch/kawasaki.html

川崎板金業組合のあゆみ

昭和23(1948)年3月 川崎協同組合会社設立、昭和25(1950)年7月解散

昭和27(1952)年11月3日 川崎板金組合発足

昭和38(1963)年 川崎・田島・御幸・大師の4地域の板金業者の有志97名により、川崎板金業組合を設立(川崎板金業組合と川崎板金組合に分かれる)

昭和42(1967)年2月23日 神奈川県板金工業組合発足

県板発起人9名の内、県板の会計として川崎代表者、島永輔雄氏就任

川崎板金業組合は神奈川県板金工業組合川崎支部となる。

昭和56(1981)年11月3日 川崎板金業組合30周年記念式典を開催

平成13(2001)年1月 川崎板金組合が神奈川県板金工業組合加入に伴い川崎Ⅰ支部とⅡ支部になる。その後、川崎板金組合の解散のため、川崎板金業組合は川崎支部に戻る。

組合員の高齢化や不景気のあおりを受けて、廃業する組合員が増え始め、若手の加入も無いまま、現在では僅か8名の組合員となっております。

仕事内容等

板金(薄い金属板)を加工して屋根・外壁・雨どいなどをつくり、これを建築物の所定の箇所に取り付ける工事までを行います。鋳力屋、鋳職人とも呼ばれ、技術を駆使して雨水や風の侵入を防いだり、伝統的な飾りを施して、文化建築などの美観を保ちます。

建築の世界では、手づくりの金属加工が少なくなっています。量産品を安くという流れです。それでも、建築そのものは無くなりません。高級注文住宅や寺社では、注文主さんのご要望に、誠意を込めてお応えしていく先に、明るい将来が見えてくるものだと思います。

仕事のやりがい

この仕事をやっていてうれしいと思うのは、お客様に「きれいにできたね」と喜んでいただけた時です。だから少しでもお客様のことを思って、お客様が喜ぶようにと仕事をしています。まずは板金業は現場を見て、寸法を測らなくてはなりません。その上で雨の量で径を変えてみたり、あるいはお客様と相談やアドバイスも交えて作り上げていきます。そして場所によって、フィットするように作り替えていくのが、職人の腕の部分ではないでしょうか。用の美と申しますか、“見えない部分はしっかり、見えるところは粹に”。この腕の見せどころに、板金業のやりがいがあるのです。今は部品をただ組み合わせるプラモデルみたいな建築も増えています。その一方で1枚の板から形にする建築板金の技能は、今も求められているのです。

団体の取組

当組合は、人数が少ない為に横の繋がりを大切にしている組合です。仕事が忙しいときは仕事を手伝ったり、逆に手伝って貰ったり、人数が少ないからこそまとまりがあるのかもしれません。

職種を目指すには

これからの人は学ぶ場も少ないので、大変だと思います。ただ、ちゃんと技術を磨けば、いい値段がとれる職業です。より技術が必要な仕事でも、こなせることが大切。仕事ができる人とできない人では値段も違うし、普段の仕事の評価や評判で注文の数も違ってきます。また、学生のうちに絵心を磨いてほしい。お宮の細工仕事では、雨どいに文様を浮き彫りにすることがあるのです。絵心がないとできないような仕事もありますから。

HP・SNSなど

川崎板金業組合は神奈川県板金工業組合の川崎支部になっていますので、神奈川県板金工業組合のホームページに川崎支部として載っています。

川崎インテリア表具組合

職種名／表具インテリア

代表者／組合長 若林 哲

設立日／昭和30(1955)年1月1日

- 電話番号／044-522-8933 FAX／044-555-7876
- 所在地／川崎市幸区古市場2-89-20
- メールアドレス／a-wakabayashi@kde.biglobe.ne.jp

「表具」という言葉は今の若い人には馴染みがあまりありませんが、もともとは布や紙を扱って、巻物、掛物(掛軸、額等)、屏風(びょうぶ)、襖(ふすま)、障子などに仕立てることを言います。昨今はこういった仕事も根強い需要はあるものの時代と共に少なくなってきました。そうした中生活スタイルの変化によって、インテリア分野の壁紙、じゅうたん、クロス等の内装工事に大半はシフトしてきています。しかしながら、伝統技術の継承・後継者の育成など必要不可欠な事という思いから当組合は技能向上を目指し、技能検定の練習会やさまざまな技術の講習会等を積極的に行っております。また昨今は常に新しい材質、材料の出現に対応できるようにしていかなければなりません。そこで、会員相互の意思疎通はもちろんのこと、川崎市技能職団体連絡協議会をはじめとする関係各団体からの情報なども積極的に発信しているところであります。



組合旗

昨今はわれわれの業界もご多分に漏れず若年層、後継者不足で組合員数も一時の半分以下にまでになってしまいましたが、組織としての形になってから今年で68回目の総会を数えることになりました。その間数多の困難な時代を乗り越え、先達が切磋琢磨して守ってきた伝統ある組合ですので、これからも組合員に少しでも役に立つような活動を続けていければと思っております。またお客様にもこの組合の加盟店なら安心だと思っていただけるよう努力をしていきたいと思えます。そのためにはまずはお客様にこういう団体があるということを知ってもらうこと、知ってもらうにはどういうことをしていかなければならないか、それが直近の課題ではないかと考えております。

われわれの組合は川崎市で事業を行っている人を中心に組織されていますが、上部団体には神奈川県内の各支部が集合した神奈川県表具経師内装協同組合があります。こちらでは技能検定試験の運営を国から委託されていますが、そちらにも当組合から試験検定委員をはじめとするさまざまな面で協力をさせて頂いております。その上には全国組織の団体もありそちらでも技能向上や事業経営に関しての取り組みなどの運営に積極的に参加しています。それらの活動を通じて各都道府県の同業者の皆様とも交流をし、情報交換などもさせて頂いておりますが、このようにいろいろな活動や情報を活かし最終的には地域の皆様、お客様に安心して依頼していただき満足いただけるように、これから一層尽力し事業の向上を目指していきたいと思えます。



障子



掛軸



ふすま



パネル額と障子



扁額

川崎屋根組合

職種名／屋根職

代表者／理事長 安積 孝郎

設立日／昭和24(1949)年5月1日

- 電話番号／045-962-2700 FAX／045-962-0177
- 所在地／横浜市青葉区鴨志田町218-1 (有)安積瓦店
- メールアドレス／yane.kawara.azumi@chorus.ocn.ne.jp

川崎屋根組合の主な記録

川崎屋根組合が、今日に至るまでにはいろいろの遍歴がありました、簡単に記します。

昭和20(1945)年8月終戦。市内の戦災復興が盛んな頃、昭和24(1949)年5月、数名の業者が発起人となり「川崎屋根工業組合」創立、初代理事長に小林武人氏、定款作成、組合員15名でした。

昭和34(1959)年4月、隣の鶴見瓦組合と工事上のトラブルを避ける為、双方協議の上合併「川崎鶴見屋根工業組合」と改称、理事長に鶴見の成田甚一氏、組織は川崎・鶴見・中原北部の4支部で、組合員60名、35年以降年の経過と共に理事長も小林・石井の各氏が歴任。

昭和43(1968)年4月「神奈川県瓦屋根工業組合」創立、加入、組合構成は横浜・横須賀・湘南湘北・西湘・川鶴組合の6組合で参画。また、33(1958)年に、職業訓練法が施行され、技能の修得をさせるには、「職業訓練指導員」の免許の取得が必要、47年に全日本瓦工事業連盟創立県連加入、業界も全国組織、略称「全瓦連」。

県連合会は、組合員の技能の向上と社会的地位の向上を図り、また後継者の育成のため労働省と、諸省庁の指導により、国家試験の技能検定・かわらぶき1級・2級技能士試験を実施、実技試験に協力、組合から多数の合格者を出し第一回以降も毎年実施しています。理事長も吉田・伊藤・上原の各氏がなられた。

同47年11月、伊藤川崎市市長より、技能職者の表彰制度開始技能功労者100名が受賞、以降功労・優秀・青年の表彰が毎年実施される。

翌48年10月「川崎市技能職団体連絡協議会」設立される。初代会長は川連の相川誉氏。

昭和52(1977)年9月全瓦連が関係省庁の指導で「社団法人全日本瓦工事業連盟」と改称する。

同52年3月神奈川県技能士会連合会に加入。

昭和55(1980)年11月組合創立30周年記念式典を鶴見の菅原会館で来賓多数、組合員73名の出席。

昭和57(1982)年第一回全国技能グランプリ実施。

同58年第2回実施、神奈川県代表かわらぶき1級技能士、湘南の岡崎氏第4位に入賞。

同59年3月、川鶴組合より鶴見支部が分離し県連合会に加入、昔の「川崎屋根工業組合」と改称、理事長は北部の大黒一二を選出する川崎・中原・北部三支部組合員計73名になりました。

また、平成16(2004)年には三支部が合併して今現在の川崎屋根組合となりました。

当初の組合員は10名でしたが現在は7名になりました。

今の組合活動は不定期ですが、てくのかわさきで定例会を開催して、お互いの情報交換や瓦組合主催の講習会などに積極的に参加しています。

近年、自然災害は温暖化もあり台風や地震もスケールが大きくなり、ガイドライン工法などの対策なども話し合っています。

また、悪質な訪問販売も多々あります。瓦が浮いてます、落ちそうだと直に工事をした方が良いと言われたなどといった問合せが良くありますので地道に通知(周知)活動もしています。

年々瓦葺職人さんが減少している状況です。

1人でも多く職人さんを育てる為には職場環境を良くして行かなければなりません。

これも私たちの使命だと思います。



川崎市ビルメンテナンス業協同組合

職種名／ビルメンテナンス業

代表者／代表理事 竹中 伸幸

設立日／平成5(1993)年1月4日

- 電話番号／044-246-9261 FAX／044-246-3070
- 所在地／川崎市川崎区南町20-3 川崎ビル6F
- メールアドレス／bm-kbc@poem.ocn.ne.jp
- ホームページ／kbc.ict.-jig.com/

私たち、川崎市ビルメンテナンス業協同組合は平成5(1993)年に市内のビルメンテナンス業を営む8社で設立され、一昨年には30周年を迎えることができました。

現在は組合員12社、賛助会員9社を擁する組合へ発展してまいりました。平成7(1995)年には官公需適格組合を取得し、平成25(2013)年には川崎市より障がい者支援施設等受注団体の認定を受けました。

現在でも高津区総合庁舎清掃で障がい者雇用及び訓練場所として発注いただいております。

近年、ビルメンテナンス業界を取り巻く環境も大きく変化してまいりました。電子入札システムや指定管理者制度の導入、市場化調査、PFI制度など大きな変化と新たなビジネスチャンスをもたらす一方で、変革ができない企業は市場から取り残される可能性が考えられます。

組合として、この時流の大きな変革の中でより専門性を高め、多様化する顧客ニーズに対応するための研鑽を重ね、組合員の期待に応える事業展開をしてまいりたいと考えております。



業務用エアコン洗浄



空調点検



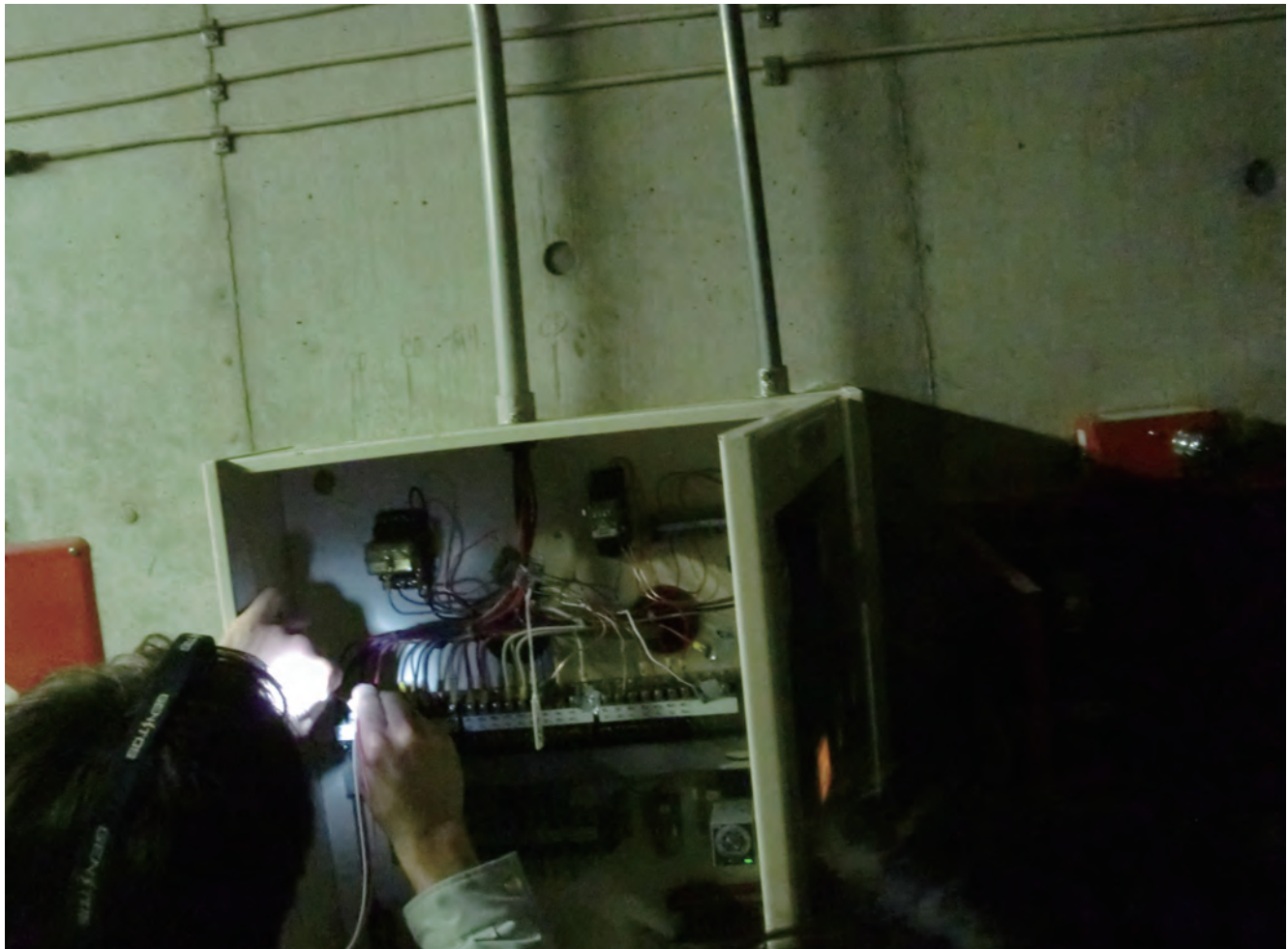
ビルイメージ



ビルイメージ



床面作業中



ハロン消火設備_ソレノイド交換作業



消防感知器点検作業



電気設備点検

一般社団法人 神奈川県内装仕上技能士会

職種名／内装仕上

代表者／会長 本間 健治

設立日／平成27(2015)年10月2日

- 電話番号／044-366-5120 FAX／044-366-5120
- 所在地／川崎市川崎区鋼管通1-1-9
- ホームページ／<https://www.kng1988.jp>

内装仕上職種(壁装、プラスチック系、カーペット床仕上げ)の1級、2級技能士が所属、または技能士を目指そうとする者が所属している団体です。

一社)神奈川県内装仕上技能士会は会員の相互の協力によって、内装仕上技能士の技能及び資質の向上、技能士の育成に努め、内装仕上技能士の社会的、経済的地位の向上を図ると共に社会に貢献することを目的に平成元(1989)年に設立しました。

私たちは、内装仕上職種(壁装、プラスチック系、カーペット床仕上げ)の1級、2級技能士(国家資格)が所属、または技能士を目指そうとする者が所属している団体ですので、高い技術力を駆使しての仕事や後継者育成等で技能の継承を行い、より良い住宅環境にするべく活動しております。

内装仕上げとは、施主様のイメージに合わせた材料を使いながら室内(天井・壁・床)を美しく仕上げていく仕事です。



(一社) 神奈川県内装仕上技能士会ロゴ



・床仕上げ

一般住宅や各種施設などの床に基準線を引き、タイル・シート・じゅうたん・カーペット・クッションフロア・畳などを敷き込んでいく作業です。継ぎ目が見えないように床材を張ったり、決められた線からズレないようにしたりといった技術が必要とされます。



・クロス(壁紙)

ボードを張った壁や天井の上から、ビニールクロスや織物クロス、紙クロスなどの壁紙を張っていく作業です。クロスは巾規定寸法が約45~90cmの材料が主流ですので、必ず1枚

1枚を繋ぎ合わせて貼らないといけないので、つなぎ目部分が見えないように貼っていく等の技術が必要です。

今後への取り組み

引き続き、技能向上に勤めるとともに、内装工事業界も人出不足問題も抱えております。

将来の業界の為に、当会では小中学校への課外授業で実際に内装に関する仕事を体験して頂いて、仕事の楽しさを身近に感じて貰うことで、後継者育成に取り組んでおります。

また、川崎市主催技能フェスティバルや神奈川県技能フェスタに参加し、地域との社会交流も行っています。

団体の思い

優れた技術は、より多くの知識、情報によって生かされます。

理想的な労働環境を創造し、あなたの技術をより生かすために、神奈川県内装仕上技能士会(以下 K.N.G)があります。

今まで以上に技術・技能が重視される時代です。

私達は、施工方法や技術の高度化、資材に対する専門知識の充実を図る必要があります。

K.N.G.では、各種講習会、技能検定対策などを行っています。

幅広い人間関係は、私達に豊かさをもたらすだけでなく、労働環境をより良くします。

K.N.G.では、より多くの人と交流できるよう、毎年懇親会などを行って技術向上に取り組んでいます。



神奈川県印刷工業組合川崎支部

職種名／印刷技能職

代表者／支部長 望月 幹仁

設立日／昭和33(1958)年3月28日

- 電話番号／044-322-7500 FAX／044-322-7654
- 所在地／川崎市大川町11-6 (株)大和
- メールアドレス／mochi@daiwano1.co-site.jp

神奈川県印刷工業組合 川崎支部の活動

組合の発足から60年あまり、技術・生産向上のための講習・講演会、技能・情報管理など各種ライセンスの取得、従業員が心身ともに健康に働けるための産業医制度、各種共済制度、カーボンオフセットなどの環境事業、経営に関するセミナー、設備投資に関する支援事業の紹介・斡旋、など多岐にわたり活動を行っております。また、行政に対しても提言や要望を発信しております。

その他にも組合員それぞれが地域貢献・環境整備など積極的に取り組んでおります。

川崎支部では2ヵ月に1回支部会を設け、各社の現状報告や情報交換などを行っております。



川崎市印章業組合

職種名／印章業

代表者／金子 正行

設立日／昭和40(1965)年

- 電話番号／044-722-2745 FAX／044-722-6320
- 所在地／川崎市中原区新丸子町729
- メールアドレス／kanekoin@pf.catv.ne.jp

当組合は、昭和40(1965)年に設立し、現在8店舗が加盟し多くの印章彫刻で活躍しております。

「印章」とは、重要な契約書を取り交わすときや、銀行に口座を開くときなど、われわれの暮らしの中で重要な役割を果たす道具で、普段の生活ではハンコ、印鑑などと呼ばれているものです。

印章彫刻には、職人の手で文字を彫り上げる方法と機械で彫る方法がありますが、手彫り技法で制作することにより、だわりを持っている印章彫刻技能士は、印面に自ら筆で文字を書き、何種類もの彫刻刀を駆使して彫り上げていきます。決して大きくはない印面に複雑な文字やデザインを彫り込むには、長年の技術の研鑽・錬磨による習得が必要です。

お客様の希望に応じ、開運印鑑から個人用印鑑、法人用印鑑まで、さまざまな素材(つげ、黒水牛、チタンなど)により丁寧に制作させていただきます。

今後とも、お客様の一生の信頼の「証」である印章づくりに尽力してまいります。ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。



一般社団法人 神奈川県広告美術協会 川崎支部

職種名／広告美術業

代表者／支部長 高畠 稔

設立日／昭和29(1954)年11月16日

- 電話番号／044-853-0355 FAX／044-853-0358
- 所在地／川崎市宮前区馬絹6-18-27 (株)まち

私たち一般社団法人神奈川県広告美術協会(以下、神広美)は主に看板に関わる業種のエキスパートが集う団体です。改組改称を経て昭和29(1954)年より約70年にわたり技術の向上、公衆の安全に寄与できる取組などを推進し、また川崎支部としては41年間共に歩んで参りました。

看板は近年、目まぐるしい速さで進化するデジタル技術に応用したデジタルサイネージ(電子看板)などにより、看板の既成概念そのものを変えてしまう勢いがあります。しかしながら、看板の大きな役割である「伝える」という目的はどんな時代も不変であり、日本の看板の歴史は諸説ありますが奈良・平安まで遡ります。その頃の看板は商品自体や模したものをサンプルとして掲出していたようです。以降は時代時代の先端技術や技法を用いて少しでも他の看板と差別化を図り伝えることを貪欲に追及していた先人の努力が看板業の礎となり、現在に至ります。

また、技術の進歩は看板の様々な進化に寄与することとなり、その顕著な例とし大型化があげられます。古くはのれんに商品の絵を描いた物や軒先に吊るす程度であったものが、より目立ち遠方から視認を可能とし他店との差別化を図るために大きく、また高く看板を掲げることが建築



技能フェスティバルの様子



地引網大会の様子

技術の進化に伴い可能になりました。現在においても郊外のロードサインに目を向けると、建物よりも高い大きな看板が真っ先に目に入る光景が見受けられ照明設備が付帯されたものであればかなりの距離から夜間でもアピールすることが可能です。このように、技術の進歩は看板を進化させ、大型の他、かつては一方通行であった情報発信をデジタル技術の応用で双方向に行うことも可能な時代となりました。

しかしながら、目覚ましい看板の進歩とともに悲しい事故が発生していることも直視しなければならないことだと私たちは考えます。建築技術の向上により、高所へ設置や大型構造物を製作することが可能になりました。その一方で不適切な製作・設置方法、そしてメンテナンスの不備などにより、近年痛ましい事故が発生をしております。どんなに技術が発達し素晴らしい機器や工法が開発されても、それらを製作・設置し安全・安心できるよう運用していくためには看板の専門家である私たちが行動を起こさなければならないと考えます。「決して事故は起こさない」と誓い、先人が貪欲に伝えることを追求してきた想いに負けないマインドで安全に目を向けて次世代に繋げることが必要です。

また、看板は景観との調和も今後は更に求められます。山の稜線を遮るような大型ロードサインは決して調和がとれているとは言えず、所有者とともに意識を変えていく事も今後の大きな課題となっています。

現在、神広美では『官民合同勉強会』や『商店街まち歩き』、『啓発ビデオの作成』事業などを通じ「これ以上、看板が原因となる悲しい事故を起こさない、起こさせない!」という気持ちで所属会員への勉強会などと共に行政、所有者と連携し安全安心な看板を目指し活動しております。

昨今の情報化社会とりわけインターネットの普及により様々な情報を簡単に手に入れることが可能となりました。その反面で人と人の繋がりが希



技能フェスティバルの様子

薄となりつつあることも事実です。結果として世代や業態を超えた繋がりから得られる知識や気づきが、以前に比べ得ることが難しくなっています。看板製作は文字描きからシートカッティング、プリント出力そしてデジタルサイネージ、または特殊な商材を用いた表現方法と多岐に渡ります。現代の看板は製作する過程で様々な専門技術者の手を経てこの世に誕生することが多くなりました。その観点からも今まで以上に看板に関わる人と人が繋がることで得られる知識や気づきは大切なものになっていきます。

神広美では会員間のコミュニケーションを促進し、『看板に関わる人と人を繋げる』活動を現在推進し各施策を準備実行しております。現在はこの輪を拡充し互いに協力、研鑽しあえ、より安心安全な看板の実現を目指し次世代へつなげて参りたいと思います。

神奈川県生花小売商協同組合 川崎北支部

職種名／花き装飾

代表者／支部長 三家 恵吾

設立日／昭和48(1973)年1月13日

- 電話番号／044-844-2125 FAX／044-833-9332
- 所在地／川崎市高津区溝口5-3-67

会員数 15名

川崎北支部は中原区4店・高津区6店・宮前区2店・多摩区2店・麻生区1店

主な活動内容

令和2(2020)年 花の応援団～医療従事者の方々へ お花で届ける感謝の気持ち

コロナ禍で、風評被害や訳のわからない偏見などがある中、様々な思いで医療に従事されている方々に、お花が持っている幸せ効果やポジティブな力を「ありがとう」の気持ちを込めて、お花をプレゼントする企画を計画して実施しました。

令和5(2023)年 みんなの川崎祭が開催され、ロングテーブルを設置し、食事をしながらお花を楽しんでいたが、開催後は購入してもらおうという企画を実施いたしました。売上は川崎市で少しですが役に立てばと思い、寄付致しました。

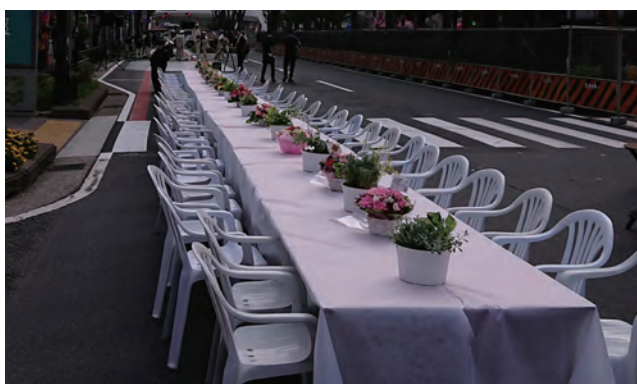
毎年5月に等々力緑地にて川崎市主催の「花と緑の市民フェア」に組合員のアレンジメントで2日間飾り、最終日に安価にて販売し大変喜んでもらっています。



グリーンパーク中野島小児科クリニック



山桜の里R2.12.21



みんなの川崎祭 ロングテーブル生花装飾①



みんなの川崎祭 ロングテーブル生花装飾②

神奈川県写真師会 川崎支部川崎写真師会

職種名／写真師

代表者／会長 鈴木 克明

設立日／大正6(1917)年吉日

- 電話番号／044-822-3466 FAX／044-811-9872
- 所在地／川崎市高津区溝口4-6-28 (株)写真のたなかや
- メールアドレス／info@photo-tanakaya.co.jp

川崎写真師会は大正6、7(1917、1918)年ごろ川崎市の人口1万数千人の時代に写真館同業者が形ばかりの組合を作りました。現在残っている記録では昭和2～3(1927～1928)年島田氏が初代会長となっています。会名も川崎写真師会→川崎写真業組合→写真協同組合等何回も変わりましたが、現在は元の名称に戻っています。昭和39(1964)年より、川崎市立恵楽園(養老院)に老人無料撮影奉仕を続け、これが起点となり県写真師会の敬老無料撮影事業として発展していきました。また令和2(2020)年から写真供養を企画し、捨てるに捨てられない10,000枚以上のお写真を引き取り、お寺で供養していただく事業が県写真師会としての取り組みに発展してまいりました。組合例会は毎月開いています。

今では写真の技術は、テレビはもちろん、コンピュータの基盤等、生活になくてはならないものになりました。その中で写真館の我々は人物写真、建築写真、コマーシャル写真等、専門分野を担当しています。人物写真としては、証明写真、お宮参り、誕生日、七五三、卒業、入学、ハーフ成人式、13祝い、成人、お見合い、結婚、家族写真、還暦等記念写真、遺影写真、卒業アルバム制作等お客様の人生の記録に残る写真を制作しております。撮影の勉強会を定期的に行き、技術の向上を心がけており、撮影時のお客様の素敵な表情の引きだし方、着物の振り付けや、撮影データを一つ一つ丁寧に調整しており、お客様に永年そのお写真がお客様の宝物になるような気持ちで仕事をしております。

また、若者に写真技術について理解を深めてもらうため小中学校、高校の出張講話、職場見学、職業体験を引き受けています。



技能功労者等表彰式

神奈川県クリーニング生活衛生同業組合 川崎北支部連合会

職種名／クリーニング業

代表者／会長 石井 康夫

設立日／昭和32(1957)年12月31日

■ 電話番号／044-822-5446 FAX／044-822-5470

■ 所在地／川崎市高津区諏訪2-11-6 中央化学ドライクリーニング

※設立日は神奈川県クリーニング生活衛生同業組合の設立日です。

当会は、神奈川県クリーニング生活衛生同業組合の川崎北支部として15店舗が加盟しております。

当組合では、消費者には正しい衣生活を過ごして頂くために、経営者には衛生面、技術面、経営面の向上をバックアップするために組合では、さまざまな活動をしております。

経営や技術に関する事業としては、各種講習会やクリーニング師受験対策指導、研究情報誌の発行などを行っています。広報に関する事業としては、機関紙の発行やマスメディアを利用した消費者PR事業などを行っています。

また、環境や社会福祉に関する事業にも取り組んでおり、環境保全対策や募金活動などを行っています。

○クリーニングの大切さについて

クリーニングとは、単に汚れを落とすだけではないことをご存知ですか？

衣服は汚れると「通気性」「吸湿性」「保温性」が低下し、細菌が増え、悪臭が発生します。シミや汚れを除去して清潔感を回復するため、細菌を除去して衛生的にするため、そして仕上げによりファッション性を保全するためクリーニングのご利用をお勧めします。

クリーニング店は衣料の病院です。クリーニング店は、どこも同じではありません。

クリーニングという仕事は、思っているより奥の深い仕事です。

例えば、、

「大切なぬいぐるみなんだけど、クリーニングしてくれるのかしら？」

「こんなシミ、プロでも落とせないよな...気に入ってるのに(泣)」など、「ちょっと無理なのでは・・・？」と思うようなモノを快く「やってみましょう!」と言ってくれるチャレンジ精神を持つお店は、技術に対して探究心をもって取り組んでいるお店のはずです。こういうお店は技術の習得に真面目に取り組んでいるお店です。

お店選び際には、ぜひクリちゃんを参考にいただければと思います。





技能フェスティバル

川崎個人タクシー協同組合

職種名／個人タクシー運転士

代表者／理事長 石渡 義洋

設立日／昭和35(1960)年12月10日

- 電話番号／044-222-1616 FAX／044-211-0303
- 所在地／川崎市川崎区大師駅前2-9-14
- メールアドレス／honbu@kawasaki-kojin.or.jp

仕事内容等

川崎市を中心に旅客運送事業を展開する個人タクシー事業者の団体です。現在約280名が所属しています。昭和35(1960)年、協同組合の目的である相互扶助の精神に基づき、経済活動促進、業界の発展、事業者の資質の向上を図ること等を目的として発足しました。業務の主な内容は関係官庁への申請業務事務代行、チケットやカード等決済に関する業務、営業備品販売、共済事業及び損害保険代理業を行っています。

団体の取組

タクシー事業は公共輸送機関の一翼を担っています。常に利用者側の立場に立ち、関係官庁、その他の機関と連携し安全輸送の確保とサービスの向上を課題とし、旅客運送事業を通して社会の公共福祉に貢献しているという誇りを胸に自覚と責任を持って取り組むよう常日頃より所属事業者へ伝達しています。

目指すには

個人タクシー事業者になるには、タクシー運転士における優秀な資質と、永年の運転経歴及び無違反歴・良好な健康状態・資金力などの資格を兼ね備えた適格者であり、道路運送法や関係法令等の試験に合格し運輸局による審査で許認可される必要があります。

メッセージ

昭和34(1959)年に個人タクシーが初めて認可されました。当時のタクシー業界は運転士が過酷なノルマ達成のため過重労働や乱暴運転が横行し「神風タクシー」などと不名誉な言葉まで生まれ、世論の批判を浴びるに至りました。また、事業免許を持たない者が違法な「白タク」営業を行い輸送秩序に混乱を招き、利用者の期待を裏切る結果となりました。世論が求めていたのは安全で快適な輸送手段としてのタクシーであり、個人タクシーはこうした時代背景を基に世論の声に行政側が答える形で誕生しました。時は流れタクシーも時代に即した形状へと変化していますが、個人タクシーが世に出て半世紀を超えた今でも「乗って安心!個人タクシー」の標語は引き継がれています。快適で安全な輸送を心がけ今後も大衆に愛されるタクシーを目指し所属事業者は日々努力しています。

川崎第一個人タクシー協同組合

職種名／個人タクシー運転士

代表者／理事長 橋立 匡

設立日／昭和47(1972)年4月1日

- 電話番号／044-277-8371 FAX／044-277-8721
- 所在地／川崎区藤崎3-7-3
- メールアドレス／k-taxi@fb.dion.ne.jp

川崎第一個人タクシー協同組合の設立は昭和47(1972)年で51年の歴史をもっています。個人タクシーの資格取得要件としては、申請時65歳未満、第2種免許保有、タクシーなどの運転歴10年以上、地域のタクシー歴3年以上、無事故無違反、一定の事業資金を有すること、このほか細部にわたる資格要件があり、全てを満たしていなければ審査が通らない厳しいものです。

当組合では、安心・安全で快適なモビリティをお客様に提供するため、サービス・技能の向上に向けた活動を行っております。

○活動内容

- 1 すべての車両は3か月毎の法定点検はもちろん早めの整備の励行
- 2 安心・安全・快適サービスのための定期的な研修・講習の実施
 - ・ 交通法規と地理ルート
 - ・ 事故防止対策
 - ・ 安全マネジメント
 - ・ 車両管理(清掃、車内の快適空間づくり)
 - ・ 接客サービス対策
 - ・ 乗務員の健康管理
- 3 全車が賠償保険加入で万が一でも安心
- 4 福祉利用・遠距離利用・時間制利用などの割引制度
- 5 環境対策(エコドライブ、エネルギー効率化)

今後も、こういった活動を通して「豊かな経験と確かな運転技術で安全・安心・快適な移動サービス」の向上に努めてまいります。

川崎自動車整備協議会

職種名／自動車整備士

代表者／代表 和泉 誠一

設立日／昭和27(1952)年8月吉日

- 電話番号／044-522-4401 FAX／044-544-1600
- 所在地／川崎市中原区上平間1183 (有)鹿島モータース
- メールアドレス／i-seiichi@mtf.biglobe.ne.jp
- ホームページ／<http://www.car-jp.com>

川崎自動車整備協議会は、本部団体(一社)神奈川県自動車整備振興会に所属し、本部団体は70年の歴史があります。その中で神奈川県には川崎市から小田原市までの25支部があり、3000社の事業所が在籍しています。川崎市には川崎支部会88社、川崎中央支部会71社、川崎北支部会168社、川崎三支部合計327社の事業所があります。その中今季から、川崎中央支部会が代表となり川崎三支部として、川崎市技能職団体では川崎自動車整備協議会と名称づけられています。

○自動車整備の電子化

- ・自動車業界も100年の歴史となり、現在エネルギー不足と原油の高騰等があり、ガソリン自動車からハイブリッド車や電気自動車に、移行しつつあります。
- ・令和5(2023)年1月より車検証がICチップを導入した7インチサイズの電子車検証になる等、令和6(2024)年10月より特性整備制度により、OBD(コンピュータ)車検も開始されます。



和泉支部会長の挨拶(川崎中央30.5.18)



総会風景(川崎中央29.5.19)



地引網(川崎中央26.8.24)

○整備技術の向上対策

- ・新機構、新技術向上の研修会
- ・技術講習として、電子制御装置の故障診断講習会の開催
- ・外部診断機を用いた技術支援
- ・隔年ごと全国、神奈川県に向け、自動車整備技能コンクール大会に各支部より選手2名を選出



参加者の皆さん(川崎中央30.6.27)



参加者の皆さん(川崎中央4.11.6)

○会員の福利厚生事業対策

- ・1月 写真、絵画展 2月 支部対抗ボーリング大会
- ・9月 支部対抗ソフトボール大会 10月 支部対抗ゴルフ大会

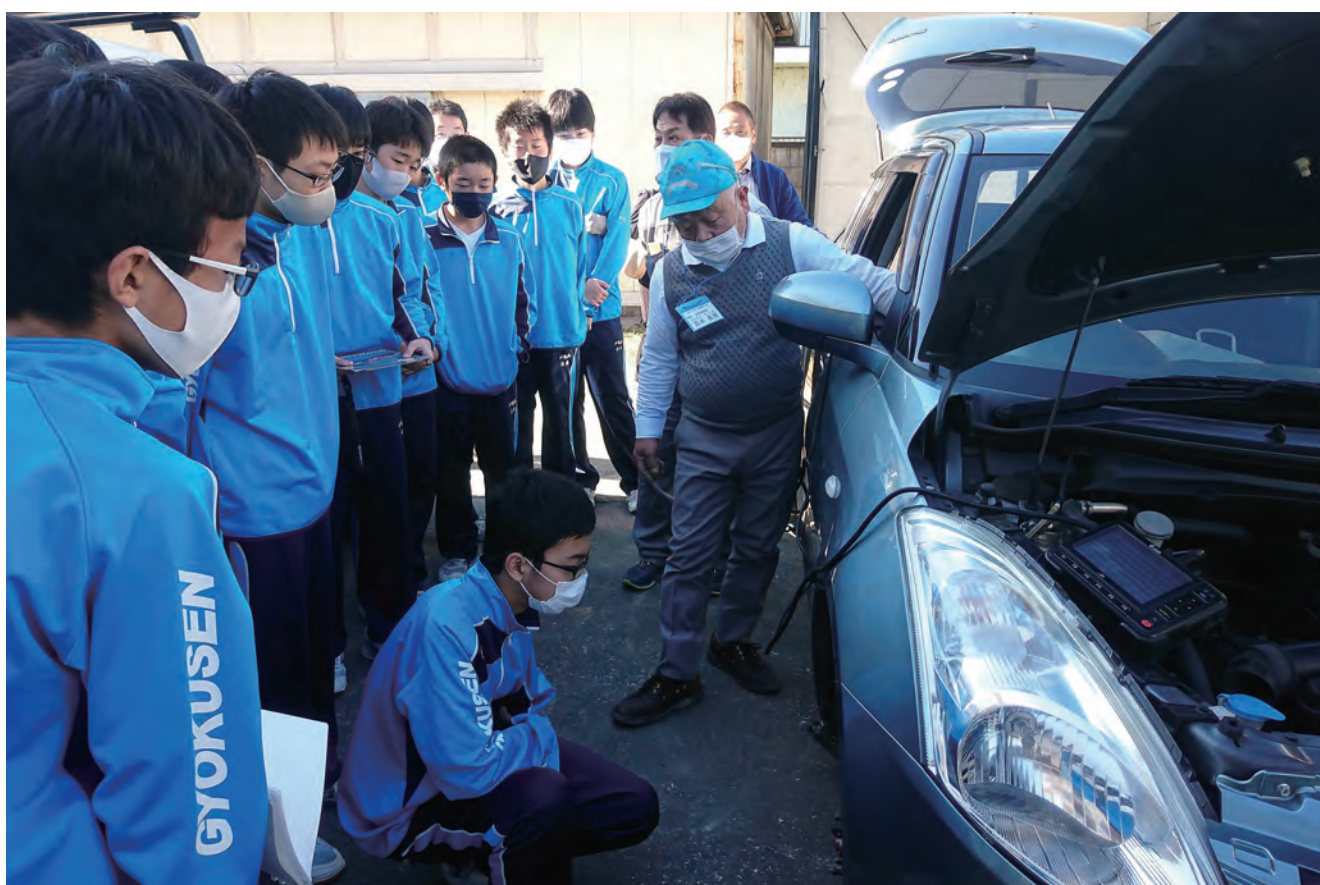
- ・各支部内に於いては、バス旅行、釣り大会等のリクレーションも開催
- ・毎年、三支部合同による川崎フロンターレ支援試合の開催やチケットの提供

○その他の行事

- ・各支部に於いて、新年会、通常総会の開催
- ・ユーザーに向けての、マイカー点検セミナーの開催
- ・ラッピングバスの広告による点検整備の促進
- ・自動車(二輪車)使用者対策として、横浜そごう前にて、マイカーステーションを開催して、点検整備の重要性をPR
- ・川崎市技能職団体連絡協議会の行事や理事会への参加



和泉支部長の挨拶(川崎中央31.1.26)



実車による説明(川崎中央2.12.8)

- ・川崎市内中学校に於いて、スキャンツール(外部診断機)を使用しての故障診断の仕方やデモカーを使用しての自動車の構造説明など、「技能職者に学ぶ」講義・実技の開催
- ・川崎地区インターシップ地域連絡協議会(県立高校)の依頼で、整備作業の就業体験学習に協力
- ・毎年、パシフィコ横浜にて「神整商・神整振フェスティバル」に参加し、今年度川崎中央支部会は、川崎野菜の詰め放題と海苔の販売を実施
- ・毎年11月、木月県警第2機動隊前にて、国土交通省主幹で中原警察署・川崎市等と協力して、街頭検査に参加
- ・政治連盟主催の政経研究会や政経セミナーの開催
- ・幸区民祭、中原区民祭への参加



エンジンの模型による説明(川崎中央2.12.8)

川崎提灯装飾業組合

職種名／提灯装飾業

代表者／理事 清須 照雄

設立日／昭和59(1984)年8月1日

- 電話番号／044-233-4908 FAX／044-233-0357
- 所在地／川崎市砂子2-7-4 清花堂

～貼らなきゃ喰えない提灯屋？～

提灯の業界も分業化が進み現在では提灯の骨屋、貼屋、書き屋というように、それぞれ得意の分野で仕事をして一つの「ちょうちん」へと仕上げて行きます。従って、都市部の提灯屋は製造部門はほとんど地方の職人（メーカー）に任せ、もっぱら文字を書いて仕上げるだけという、貼らないでも喰える提灯屋であります。

提灯文字には特別の「きまり」は無く江戸文字の一種に分類されますが、職人それぞれの習熟過程と個性により、書ける限りを修行の場として文字は磨かれます。

師匠は弟子に手を取って教えることは稀であり弟子は「籠字」の塗りつぶしにより文字の一点一画を学んで自分のものとしていくのが最良の方法であり、曲面、球面のしかも竹ひごによる波型の和紙の上に文字を定着させ、さらに看板としての力強さを表現していくことは書道の大先生でも戸惑うところの職人の腕力と言えるかも知れません。

さて、この「籠字」の技法とは竹の棒などによって突っ張りピンと張られた提灯の上にあらかじめ柳炭（細い木炭）で軽く文字の「当り」をとり、細い筆を使用して、まず文字の輪郭を描き、次に塗り筆で細線の間を塗りつぶす、いわゆる「ちょうちんや」方式の造字の間、師匠が輪郭を描き弟子が塗りつぶすという連携作業が生まれます。この際に、たて横入り交じった細線のどこを塗りつぶすかを細線で「かご目」にして指示を出した状態を「籠字」と呼んでいます。

いわば流れ作業で能率化を図るとともに師匠から弟子への技術の伝承方法としてせめてもの親心が感じられます。

川崎提灯装飾業組合は提灯の需要が少なくなっていた時代に設立されたものであり、川崎中で十数軒を数えるのみで、提灯屋だけでなく提灯を扱う造花装飾業、看板業、びら屋と呼ばれた揮毫業などを寄せ集めた形で発足しました。創設者のグループでは、ほとんどが世代を交代しています。現在では提灯を扱う装飾業は2店ですが各店の生い立ちから時代、地域のニーズに合わせた形の営業形態で個性的な店づくりにより「提灯の明り」を消さずに頑張っています。





技連協の全団体の提灯を飾ります



技能功労者等表彰式の舞台に毎年飾りお祝いします

一般社団法人 川崎市鍼灸マッサージ師会

職種名／鍼灸あんまマッサージ指圧師

代表者／会長 小川 眞悟

設立日／昭和21(1946)年10月吉日

- 電話番号／044-741-2345 FAX／044-741-2346
- 所在地／川崎市中原区上小田中3-22-10 杉浦ビル3F
- メールアドレス／kawasakisikai@wave.plala.or.jp
- ホームページ／<https://kawasakishinkyu.com>

「市民の健康・社会福祉の増進に寄与してまいります」

川崎市鍼灸マッサージ師会は、昭和21(1946)年10月に創立され、現在創立77年周年を迎えることができました。ここまで会の運営ができたことは、諸先輩ならびに会員の皆様方、川崎市行政、川崎市技能職団体連絡協議会を始めとする各関係団体の協力のお蔭と深く感謝申し上げます。

現在15代目の会長として、この節目に携われたことに喜びとともに、その重責も感じております。

創設当時は戦後の混乱期でありマッカーサー司令官による鍼灸マッサージの禁止要請に対して、全国の関係団体が一丸となって存続運動を起こし、業界廃絶の重大な危機を乗り越え今日の業団や川崎師会の基を築き上げてこられたことに、多くの先輩たちに敬意を表する次第です。

その後は会員の相互の親睦と情報交換にとどまらず、資質向上のための研修事業を積極的に実施し、平成27(2015)年には創立70周



会長 小川 眞悟



本会ロゴマーク



マッサージボランティアの様子



川崎多摩川国際マラソン
鍼・マッサージボランティア

年・研修会450回の記念式典も開催しております。

また、健康保険の取り扱いや川崎市の介護予防普及啓発事業の協力など、社会の要請に応じてまいりました。また、スポーツトレーナーとしての川崎市民マラソンや駅伝、東日本大震災の避難所へのボランティア活動等、社会貢献にも積極的に参加しております。

平成24(2012)年には、一般社団法人 川崎市鍼灸マッサージ師会として、公益事業を目的とする団体として再スタートいたしました。

今後は、超高齢化社会に対応する、地域包括ケアシステムの一員として、市民の健康を守り、公衆衛生、社会福祉の増進に寄与し、真に地域医療を担う専門職としての使命感をもって、活動していきます。

これからも、各関係機関・団体の皆様方のご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。

PRポイント

超高齢化社会に対応する、地域包括ケアシステムの一員として、市民の健康を守り、公衆衛生、社会福祉の増進に寄与し、真に地域医療を担う専門職としての使命感をもって、活動していきます。



技能フェスティバル 美容鍼灸の実演



災害ボランティア



川崎旧街道まち歩きツアー



本会新春講演会

川崎美容組合

職種名／美容師

代表者／組合長 遊馬 知子

設立日／昭和47(1972)年6月6日

- 電話番号／044-233-8791 FAX／044-233-8784
- 所在地／川崎市川崎区宮前町8-13 大幸ビル503
- メールアドレス／kawasakibiyokumiai@gmail.com

美容師とは、お客様の髪の毛のカット、カラーリング、パーマ、セットなど髪の毛のお手入れ全般の美容技術を行う職業

また、七五三、成人式、結婚式などのお仕度、まつ毛エクステなども美容技術に入ります。

髪の毛や容姿を整えて綺麗にして差し上げることでお客様から “ありがとう”のお言葉を頂いたり笑顔を頂いたり、お互いが幸せな気持ちになれるやりがいのある仕事です。

美容師の仕事は、その方の人生の節目節目に、必ず携わる、大切にやりがいのある素敵な手仕事です。

川崎美容組合では、美容室に來られなくなった方々へのサービスも行っております。

常時、組合加入店を募集しております。

時代に伴った、当組合の取り組みを、次世代へ繋いで行きたい!と考えております。



沖縄旅行



理事暑気払い



総会集合写真



かわさきマイスター 榎本かつ子
着付け技術講習会

〈美容師の手仕事〉

私たちの仕事は一言で言うなら「造形美学」

「造形美学」とは人が、姿形から連想するイメージを利用して、相手に与える印象をコントロールすること!

「造形美学」を持ってすれば、人からの印象を変えられる!!ということになります。

つまり、私達がおお客様の髪をカットやカラーなど諸々の手段を用いて、施術をさせて頂き完成したスタイルで、その方の印象を変える事ができるという事になります。



川崎美容組合
Kawasaki Biyou Kumiai

組合ロゴマーク

自分の作品であるお客様を目にする、向こう側の人が感じる印象こそが、私達、技術者への評価なのだと思います。

美容師のみならず次世代へ繋いで行くべき手仕事とは？
これからの課題ではないでしょうか？



まとめ髪技術講習会



国会議事堂見学



技能職者に学ぶ授業風景



技能職者に学ぶ授業風景



技能職者に学ぶ授業風景

川崎市美容連絡協議会

職種名／美容師

代表者／会長 中田 浩司

設立日／昭和50(1975)年4月23日

- 電話番号／044-233-8791 FAX／044-233-8784
- 所在地／川崎市川崎区宮前町8-13 大幸ビル503

1 団体の歴史

川崎市美容連絡協議会は昭和50(1975)年4月に発足しました。会員及び、その従業員の福利厚生、技術の向上と会員相互の親睦をはかり、関係官庁及び、関係団体との連携と協力を密にし、美容室の発展と振興に寄与するために設立されました。

2 団体の構成

当協議会は、川崎美容組合・中原美容組合・高津美容組合・北部3支部により構成されています。支部単位では、田島・大師・幸・中央・中原・高津・宮前・多摩・麻生の9支部により成り立っています。

3 団体の活動

- ・ 在宅高齢者訪問理美容サービス

川崎市と委託契約を結び、美容室に来店できないお客様に対し訪問美容サービスを行っています。



- ・ 衛生管理講習会

毎年、川崎市健康福祉局と連携し衛生管理講習会を開催しています。衛生法規・消毒法等、美容の施術に欠かせない知識の習得に努めています。

- ・ 技術講習会の開催(組合・支部単位で開催)。
- ・ 介護老人施設を訪問して美容のサービスを提供しています(組合・支部単位で開催)。
- ・ 後継者育成事業「技能職者に学ぶ」への参加。



- ・ てくのかわさき技能フェスティバルへの参加。
- ・ 新年会の開催 毎年、1泊2日の日程で、親睦を兼ねた新年会を開催しています。

4 未来に向けての想い

近年は組合員の減少により組織の弱体化が懸念されています。引き続き組織力強化に取り組みたいと考えています。

川崎市は南北に長い地形です。9支部が集まる理事会やSNSなどを活用して情報の共有、団結力の強化を図りたいと考えています。



第26回成人式・第39回永年勤続者 表彰式 川崎市美容連絡協議会 平成9年1月21日

川崎市理容協議会

職種名／理容師

代表者／会長 嘉山 兼則

設立日／昭和33(1958)年8月吉日

- 電話番号／044-854-1938 FAX／044-854-1938
- 所在地／川崎市宮前区宮崎1-4-15

川崎市理容協議会は、神奈川県理容組合川崎ブロックの連絡協議会として、川崎市内の組合加盟店の親睦・教育・厚生を主に取り組みを行っています。

活動の大きな柱としているのは、衛生施設の改善、技術力の向上、営業改善、福利厚生、高齢者をはじめ地域社会の福祉増進、後継者の育成です。

■技術力向上のための研修会の開催

研修会に多くの理容師が参加できるようにするため夜間に行っている支部もあります。

コンテスト参加の取り組みもしています。

■福利厚生事業

組合員の福利厚生事業も取り組んでいます。

組合員が不測の事態に備えるための賠償保険など共済活動も力を



9月の第2月曜日 理容ボランティアの日
溝の口の恵楽円 ボランティアカットへ



てくのかわさき 対話集会
年に1度 業界の事を話し合います



理容組合 登山部 西沢渓谷へ
紅葉とハイキング



登山部 尾瀬に

注いでいます。組合員が「わが身を守る」活動のひとつとして、大震災など災害に対応するためのパンフレットも作成しました。

■地域社会への貢献

理容協議会は地域社会への貢献として、川崎市在宅高齢者訪問理美容サービス事業の委託団体としての活動もしています。

■後継者育成事業

後継者育成のため、「若い世代に理容の仕事の魅力を知ってもらうため」川崎市技能職団体連絡協議会で毎年度開催している市立中学校での「技能職に学ぶ」に講師を派遣しています。

[illegible]

全日本みやうち着付士技能者の会

職種名／着付士

代表者／代表 田中 美枝子

設立日／昭和53(1978)年4月1日

- 電話番号／044-266-9451 FAX／044-266-9451
- 所在地／川崎市川崎区川中島1-5-2-201 みよこ着付け教室

かつて、日本人は、自分で着物を着る事が出来ましたが、生活の西洋化に伴い、着物を着る機会が減り、自分で着る事が出来ない人が多くなり、今では、人生の通過儀礼(冠婚葬祭)の節目の折々に、プロの着付士に依頼するようになりました。

着付士は、初めてお会いするユーザーの目的、目途、体型、髪型に合わせ、瞬間的に満足して頂く見極める技が必要です。同時に着物や、帯の種類、素材、模様、小物とのコーディネートや、帯の結び方も大切ですが、着物の歴史、染織など、アドバイスの為に幅広い知識が要求されます。

生身の身体との対応になるため、身なりを清潔に正しい挨拶、、お辞儀、「いつも人を敬う心で接することが基本」となります。

川崎市技能職団体連絡協議会が行う後継者育成事業「技能職者に学ぶ」で、川崎市内の中学校での体験講習を行っています。二人一組で着せ合う事や、帯結びを体験し、着物のたたみ方を学び、着物の種類と、用途を楽しく学べる工夫を取り入れて行っています。

また、みやうち着物文化グループとして、毎年行っている、きもの文化活動：歴史へのご招待「中高生の着付けとマナーコンテスト」「小学生の体験発表：川崎で育てた紅花で古代よりある紅花のハンカチ染」を行い、延べ3,500人が参加しています。

コロナ禍の為、紅花染はお休みが続きましたが、昨年は川崎市技能職団体連絡協議会婦人部の皆様の温かいご協力をいただき、紅花染めを体験していただきました。栽培している初夏の風物「紅花」も喜んでいる事と思います。

※令和6年3月より改名いたします

かながわHOT 着付士技能者の会

(代表)清水 和子

(本部)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-30-7

「有限会社 清水和子の店」

(川崎支部)

〒210-0803 川崎市川崎区川中島1-5-2-201

「みよこ着付け教室」

菊地 美代子



きものゼミナール H26.6 東海道かわさき交流館にて



歴史へのご招待より帯の結び方



技能職者に学ぶ



第10回中高生の着付けとマナーコンテスト
(第40回歴史へのご招待)



小学生の紅花染めのハンカチ展示



(初回)紅花のハンカチ染スタッフ

川崎着付士協会

職種名／着付士

代表者／会長 内山 浩子

設立日／平成6(1994)年3月30日

- 電話番号／044-733-3078 FAX／044-733-3078
- 所在地／川崎市中原区小杉町3-2-1-408

当協会では、川崎市内だけではなく、全国、海外に向けて日本の伝統衣装であるきものの文化の素晴らしさを広めるための活動を行うと共に、着物技術の向上、技術者の養成にも努めております。

きものの着付には大きく分けて二種類あり、振袖や留袖などの一般的な現代着付と、テレビや舞台等で衣装を着付ける時代着付があります。

現代着付では成人式、結婚式等での着付をはじめ、身近なところでは、地域の皆様に祭りや催事、ボランティア活動を通じてきものの着付体験をしていただき、着物文化の素晴らしさを広く伝える活動をしています。また、時代着付については、当協会の母体である東京衣装きもの学院に時代着付教室があります。教室を開くにあたり、多くの衣装が必要になりますが、その一つ一つが高価であり、数を揃えることは難しいものなので、学院体制として時代着付教室があるのは、当学院以外には他にありません。豊富に揃えた衣装を使用して多くの時間を学び、熟練した技術を身につけ、テレビ、舞台などで出演者に着付ける仕事にも活躍の場を広げています。

きものの着付を通じて、様々な日本の伝統文化を大切にする心を育て、日本人としての誇りをあらためて感じていただきたいと思います。





東京衣裳きもの学院 新年会



東京衣裳きもの学院 新年会



川崎市技能職団体連絡協議会

青年部

婦人部

川崎市技能職団体連絡協議会 青年部

部長 本田 耕貴

技能職団体連絡協議会の設立50周年心より
お喜び申し上げます。

このたび50周年の大きな節目を迎えることがで
きたのも、歴代会長のもと職種を超えた組織化に
取り組み、長年にわたり技能職者の振興や発展に
尽力いただいた、役員や各加盟団体の協力の賜
物であると、深く敬意を表します。

青年部としても、今年度は50周年の記念イヤー
ということで、プレイベントとしての競馬観戦会の開
催や、1月の賀詞交歓会・交流会への運営協力な
ど、50周年事業への協力を行ってきました。

技能職者を取り巻く環境は依然厳しく、後継者
不足や資材価格の高騰などの課題もございます
が、50年という節目を契機に技連協がますます団
結を深め、一量の躍進が遂げられることを祈念し、
心より願っております。

また、これまで青年部にご尽力された青年部
OBには、現在も多大な協力を頂いており、この
場をお借りして感謝申し上げる次第です。

令和6年度は、全国技連協青年部交流会の開
催都市が川崎市となっており、皆様のご協力をい
ただきながら開催に向けた準備を進めるとともに、
今後とも技連協青年技能者とOBとの連帯のもと、
技能職社会の向上に努めていきます。

主な事業内容

■ 広報関係

- ・技連協だより発行の協力
- ・技連協ホームページのリニューアル

■ 経営・技術関係

- ・技能フェスティバルの参加

■ 文化体育・交流関係

- ・川崎競馬観戦会(技連協設立50周年記念事業)
- ・全国技連協青年部交流会

■ 川崎市実施・技連協実施事業の協力

- ・技連協設立50周年記念式典への参加
- ・技連協設立50周年記念賀詞交換会・交流会
の運営協力

川崎市技能職団体連絡協議会婦人部

部長 中尾 育子

技能職団体連絡協議会の設立50周年誠に
めでございます。

私たち婦人部は、女性技能職者の役割がこれま
で以上に重要になると認識し、日頃の錬磨と修練
により培ってきた優れた技能を活かして、女性技能
職者の経済的、社会的地位の向上を目指すとともに、
技能の伝承・後継者不足の解消に努めるため、
技能の素晴らしさや大切さを伝える特色のある
事業を実施しています。

今年度は、文化教養事業「多肉植物の寄せ植
え体験」や、施設見学研究会「マザー牧場ブルーベ
リージャム作り体験」などの活動に加え、技連協設
立50周年記念式典や賀詞交歓会・交流会にお
ける受付業務など、親団体の50周年記念事業へ
の協力などを行ってきました。

婦人部としては、今後とも「ものづくり都市川崎」
の市民生活を支えてきた技能の更なる進展に努
め、市民生活の向上に寄与するとともに、女性技能
職者の持てる技術・技能を活かして広く地域に貢
献してまいります。

主な事業内容

■ 総会・理事会の開催

- ・総会を年1回開催するとともに、理事会を定期的
に開催し、事業の計画や課題解決について取り
組んでまいります。

■ 技連協実施事業の参加・協力

- ・技連協設立50周年記念式典への協力
- ・技連協設立50周年記念賀詞交歓会・交流会
への協力

■ 市実施事業の参加・協力

- ・技能フェスティバルへの協力

■ 技能職者の地域貢献

- ・ボランティア事業

■ 会員の相互交流と自己研鑽

- ・文化教養事業
- ・施設見学研修会



記念写真

川崎市技能職団体連絡協議会

技連協50年のあゆみ

設立50周年記念式典

令和5(2023)年10月29日(日)
川崎日航ホテル 鳳凰の間

賀詞交換会&懇親会 in カワスイ

令和6(2024)年1月23日(火)
カワスイ 川崎水族館

技連協50年のあゆみ



川崎市技能職団体連絡協議会 設立



青年部設立



婦人部設立



技連協交流のつどい



地引網大会



中小企業大運動会



被災地の仮設住宅へ花の種を贈る

技連協50年のあゆみ



川崎フロンターレ応援観戦会



てくのかわさき技能フェスティバル



技能職者に学ぶ



技能功労者等表彰



第50回総会



第50回総会・懇親会



第50回総会・懇親会

設立50周年記念式典



設立50周年記念式典



設立50周年記念式典



設立50周年記念式典



賀詞交歓会 & 懇親会inカワスイ



賀詞交歓会 & 懇親会inカワスイ





川崎市技能職団体連絡協議会

歴代三役一覧

川崎市技能職団体連絡協議会 歴代三役一覧

昭和48年度 (1973)	会 長 相川 誉	副会長 井上 文太郎	副会長 岡田 茂平	副会長 菅沼 恒造	副会長 橋本 和夫	会 計 工藤 昭	
昭和49年度 (1974)	会 長 相川 誉	副会長 岡田 茂平	副会長 井上 文太郎	副会長 橋本 和夫	副会長 菅沼 恒造	会 計 工藤 昭	
昭和50年度 (1975)	会 長 相川 誉	副会長 岡田 茂平	副会長 井上 文太郎	副会長 橋本 和夫	副会長 菅沼 恒造	会 計 工藤 昭	
昭和51年度 (1976)	会 長 相川 誉	副会長 岡田 茂平	副会長 井上 文太郎	副会長 橋本 和夫	副会長 菅沼 恒造	会 計 工藤 昭	
昭和52年度 (1977)	会 長 相川 誉	副会長 岡田 茂平	副会長 井上 文太郎	副会長 橋本 和夫	副会長 佐々木 千代	会 計 工藤 昭	
昭和53年度 (1978)	会 長 相川 誉	副会長 岡田 茂平	副会長 井上 文太郎	副会長 橋本 和夫	副会長 佐々木 千代	会 計 工藤 昭	
昭和54年度 (1979)	会 長 相川 誉	副会長 岡田 茂平	副会長 井上 文太郎	副会長 橋本 和夫	副会長 佐々木 千代	会 計 工藤 昭	
昭和55年度 (1980)	会 長 井上 文太郎	副会長 工藤 昭	副会長 佐々木 千代	副会長 山崎 林弥	副会長 佐藤 尋三	会 計 高橋 武	
昭和56年度 (1981)	会 長 井上 文太郎	副会長 工藤 昭	副会長 佐々木 千代	副会長 山崎 林弥	副会長 佐藤 尋三	会 計 高橋 武	
昭和57年度 (1982)	会 長 井上 文太郎	副会長 工藤 昭	副会長 山崎 林弥	副会長 佐藤 尋三	副会長 高橋 武	会 計 中谷 潤	
昭和58年度 (1983)	会 長 井上 文太郎	副会長 工藤 昭	副会長 山崎 林弥	副会長 佐藤 尋三	副会長 高橋 武	会 計 中谷 潤	
昭和59年度 (1984)	会 長 井上 文太郎	副会長 工藤 昭	副会長 山崎 林弥	副会長 佐藤 尋三	副会長 高橋 武	会 計 中谷 潤	
昭和60年度 (1985)	会 長 井上 文太郎	副会長 工藤 昭	副会長 山崎 林弥	副会長 佐藤 尋三	副会長 高橋 武	会 計 中谷 潤	
昭和61年度 (1986)	会 長 高橋 武	副会長 工藤 昭	副会長 山崎 林弥	副会長 石川 進	副会長 佐藤 栄子	会 計 中谷 潤	
昭和62年度 (1987)	会 長 高橋 武	副会長 工藤 昭	副会長 山崎 林弥	副会長 石川 進	副会長 佐藤 栄子	会 計 中谷 潤	
昭和63年度 (1988)	会 長 高橋 武	副会長 工藤 昭	副会長 石川 進	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	会 計 中谷 潤	
平成元年度 (1989)	会 長 高橋 武	副会長 工藤 昭	副会長 石川 進	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	会 計 中谷 潤	
平成2年度 (1990)	会 長 高橋 武	副会長 工藤 昭	副会長 石川 進	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	会 計 鈴木 時雄	
平成3年度 (1991)	会 長 高橋 武	副会長 工藤 昭	副会長 石川 進	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	会 計 鈴木 時雄	
平成4年度 (1992)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	副会長 鈴木 時雄	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	会 計 早石 一郎
平成5年度 (1993)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	副会長 鈴木 時雄	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	会 計 早石 一郎
平成6年度 (1994)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	副会長 鈴木 時雄	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	会 計 菊池 多一郎
平成7年度 (1995)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	副会長 鈴木 時雄	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	会 計 菊池 多一郎
平成8年度 (1996)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 小林 清	副会長 鈴木 時雄	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	会 計 菊池 多一郎
平成9年度 (1997)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	副会長 安藤 治夫	会 計 菊池 多一郎	

川崎市技能職団体連絡協議会 歴代三役一覧

平成10年度 (1998)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	副会長 安藤 治夫	会 計 菊池 多一郎			
平成11年度 (1999)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	副会長 安藤 治夫	会 計 菊池 多一郎			
平成12年度 (2000)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	副会長 安藤 治夫	副会長兼会計 池田 桂子			
平成13年度 (2001)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 飯塚 文雄	副会長 若月 偉男	副会長 安藤 治夫	副会長 池田 桂子	会 計 都倉 正明		
平成14年度 (2002)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 若月 偉男	副会長 池田 桂子	副会長 都倉 正明	副会長 内藤 勝義	会 計 山本 知男		
平成15年度 (2003)	会 長 工藤 昭	副会長 佐藤 栄子	副会長 若月 偉男	副会長 池田 桂子	副会長 都倉 正明	副会長 内藤 勝義	会 計 山本 知男		
平成16年度 (2004)	会 長 若月 偉男	副会長 佐藤 栄子	副会長 池田 桂子	副会長 都倉 正明	副会長 内藤 勝義	副会長 山本 知男	会 計 倉田 一之		
平成17年度 (2005)	会 長 若月 偉男	副会長 佐藤 栄子	副会長 池田 桂子	副会長 都倉 正明	副会長 内藤 勝義	副会長 山本 知男	会 計 倉田 一之		
平成18年度 (2006)	会 長 若月 偉男	副会長 佐藤 栄子	副会長 都倉 正明	副会長 内藤 勝義	副会長 山本 知男	副会長 安藤 紀美子	会 計 倉田 一之		
平成19年度 (2007)	会 長 若月 偉男	副会長 佐藤 栄子	副会長 都倉 正明	副会長 伊藤 栄一	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	会 計 倉田 一之		
平成20年度 (2008)	会 長 若月 偉男	副会長 佐藤 栄子	副会長 都倉 正明	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	会 計 高畠 稔	
平成21年度 (2009)	会 長 若月 偉男	副会長 佐藤 栄子	副会長 都倉 正明	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	会 計 高畠 稔	
平成22年度 (2010)	会 長 若月 偉男	副会長 佐藤 栄子	副会長 都倉 正明	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	副会長 目代 久典	会 計 高畠 稔
平成23年度 (2011)	会 長 若月 偉男	副会長 佐藤 栄子	副会長 都倉 正明	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	副会長 目代 久典	会 計 高畠 稔
平成24年度 (2012)	会 長 都倉 正明	副会長 藤井 澄江	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	副会長 目代 久典	会 計 高畠 稔	
平成25年度 (2013)	会 長 都倉 正明	副会長 藤井 澄江	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	副会長 目代 久典	会 計 高畠 稔	
平成26年度 (2014)	会 長 都倉 正明	副会長 藤井 澄江	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	副会長 高畠 稔	会 計 安藤 健	
平成27年度 (2015)	会 長 都倉 正明	副会長 藤井 澄江	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	副会長 高畠 稔	会 計 安藤 健	
平成28年度 (2016)	会 長 都倉 正明	副会長 藤井 澄江	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	副会長 高畠 稔	会 計 安藤 健	
平成29年度 (2017)	会 長 都倉 正明	副会長 藤井 澄江	副会長 山本 知男	副会長 中村 徳能	副会長 伊藤 栄一	副会長 上野 好一	副会長 高畠 稔	会 計 安藤 健	
平成20年度 (2018)	会 長 山本 知男	副会長 藤井 澄江	副会長 上野 好一	副会長 高畠 稔	副会長 安藤 健	副会長 菅野 健一	会 計 井口 康明		
令和元年度 (2019)	会 長 山本 知男	副会長 藤井 澄江	副会長 上野 好一	副会長 高畠 稔	副会長 安藤 健	副会長 佐藤 浩史	会 計 井口 康明		
令和2年度 (2020)	会 長 山本 知男	副会長 藤井 澄江	副会長 上野 好一	副会長 高畠 稔	副会長 安藤 健	副会長 佐藤 浩史	会 計 井口 康明		
令和3年度 (2021)	会 長 山本 知男	副会長 藤井 澄江	副会長 上野 好一	副会長 高畠 稔	副会長 佐藤 浩史	会 計 井口 康明			
令和4年度 (2022)	会 長 山本 知男	副会長 上野 好一	副会長 田中 美枝子	副会長 高畠 稔	副会長 佐藤 浩史	副会長 井口 康明	会 計 中島 弘貴		
令和5年度 (2023)	会 長 山本 知男	副会長 上野 好一	副会長 田中 美枝子	副会長 高畠 稔	副会長 佐藤 浩史	副会長 井口 康明	会 計 中島 弘貴		



廣告

川崎市食肉商業協同組合

〒210-0006 川崎市川崎区砂子2-8-1-903

電話 044-233-1986 FAX 044-233-8654

理事長 上野 好一

副理事長 須山 禎治

副理事長 駒形 和徳

副理事長 鈴木 秀雄

専務理事 鈴木 秀雄

総務部長 田辺 裕之

事業部長 安喰 茂男

保険部長 小幡 富雄

衛生部長 田辺 裕之

給食部長 駒形 和徳

広報部長 土屋 洋二郎

公取部長 大澤 茂雄

監査 富永 和吉

監査 角田 亘男



技連協フロンターレ応援観戦会「あんたが大賞」

川崎市菓子協議会

代表者：山中 誠

住 所：213-0001 川崎市高津区溝口 1-6-1

(クレール溝口 3 階 川崎商工会議所内)

電 話：044-811-2804 FAX：044-811-2836



加盟店舗一覧

川崎区：菓子匠末広庵本店（川崎区東田町 3-16 TEL044-233-4658）

大平屋（川崎区東田町 9-9 TEL044-222-7255）

菓寮東照本店（川崎区本町 1-8-9 TEL044-244-5221）

飯田屋（川崎区小田 4-8-11 TEL044-333-4861）

明志屋（川崎区小田 1-20-17 TEL044-333-0627）

多摩川菓子店（追分まんじゅう）（川崎区大島 2-1-2 TEL044-244-3484）

仙台屋（川崎区鋼管通 1-17-6 TEL044-366-7776）

伊勢屋（川崎区旭町 2-15-5 TEL044-233-9436）

幸 区：御菓子司吉田屋（幸区小向町 2-1 TEL044-511-3859）

喜久屋（幸区北加瀬 2-5-21 TEL044-599-3736）

新岩城菓子舗（幸区南幸町 1-1 TEL044-522-2721）

おだんごのマルヤ（幸区南加瀬 1-9-4 TEL044-599-4445）

中原区：菓子処おかふじ（中原区今井南町 7-43 TEL044-733-0813）

和菓子司すがや（中原区新城 1-15-8 TEL044-766-4166）

御菓子処大平屋（中原区新城 1-2-20 TEL044-766-5494）

泉心庵（中原区市ノ坪 66 TEL044-722-4628）

たむら菓子店（中原区宮内 4-23-39 TEL044-766-6928）

菓心桔梗屋（中原区新丸子町 754 TEL044-722-2755）

松柏堂（中原区井田中ノ町 4-2 TEL044-766-5937）

岡埜栄泉（中原区新丸子町 742 TEL044-722-3379）

高津区：高晴堂（高津区坂戸 2-13-17-2 TEL044-767-5034）

多摩区：三吉野（多摩区登戸 2701-1 TEL044-922-5274）

ニマイバシ（多摩区西生田 1-15-2 TEL044-955-2457）

麻生区：大平屋野村商店（麻生区上麻生 5-43-2 TEL044-987-1270）

祝

川崎市技能職団体連絡協議会 50 周年記念



川崎石材商工業組合

(株) 沖セキ	(株) ミズグチ	(株) 阿部石材店	(株) メモリアル・ストーン
(株) 水口石材	(株) 田中石材土木	共和石材(有)	(株) 宮城石材店
(有) 森山石材店	石留石材店	(株) 叶屋商店	(有) いわき石材
(株) 路川石材工業所	(有) 三島石材建設	三基石材	(株) 小島石材
(有) 金井石材店	(有) 石材彫刻秋元	(有) 吉澤石材店	(有) 佐藤石材店
(有) 大木石材店	(株) ハヤノ	昭和石材	(有) 原石材店

50 周年おめでとうございます

建設労働者の仕事と暮らしを守る組合

川崎建築労働組合

組合長 井口 康明

川崎市川崎区藤崎 1-13-27

<http://www.kawakenrou.jp>

T E L 044-222-4447



祝50周年

「やすらぎのある緑の環境をお届けする」



川崎市造園建設業協同組合

理事長 井上 雅博

川崎市川崎区東田町4番地12 モーリ磯野ビル3階

TEL 044-246-9286 FAX 044-246-4365

祝 川崎市技連協 50周年

一般社団法人 川崎塗装業協会

会長 柴崎 務

会員 26社 賛助会員 24社

〒210-0012 川崎市川崎区宮前町 8-18 井口ビル 101

TEL 044-276-8788

FAX 044-276-8798

メールアドレス：kawatokyo@onyx.ocn.ne.jp

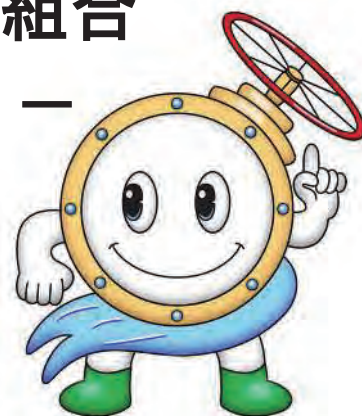
祝 50 周年
川崎市技能職団体連絡協議会

川崎市管工事業協同組合

理事長 中 嶋 栄 一

本 部：川崎市川崎区宮本町 5 番地 5

宮内出張所：川崎市中原区宮内 2 丁目 7 番 6 号



祝 50周年



緑豊かな環境づくり



神奈川県造園業協会 川崎支部

支部長 井上 雅博

川崎支部 〒211-0045 川崎市中原区上新城2-7-11【株式会社 井上植木内】

TEL 044-755-4666 ・ FAX 044-755-2253



横浜建設一般労働組合川崎支部

略称（建設横浜川崎支部）

【組合の取扱い業務】

健康保険（建設国保）
労災保険（一人親方労災含む）
雇用保険、建設業許可手続き代行
工事代金不払い相談、
社会保険加入等の相談各種

建設職人の
加入募集中



【お問い合わせ先】

所在地：

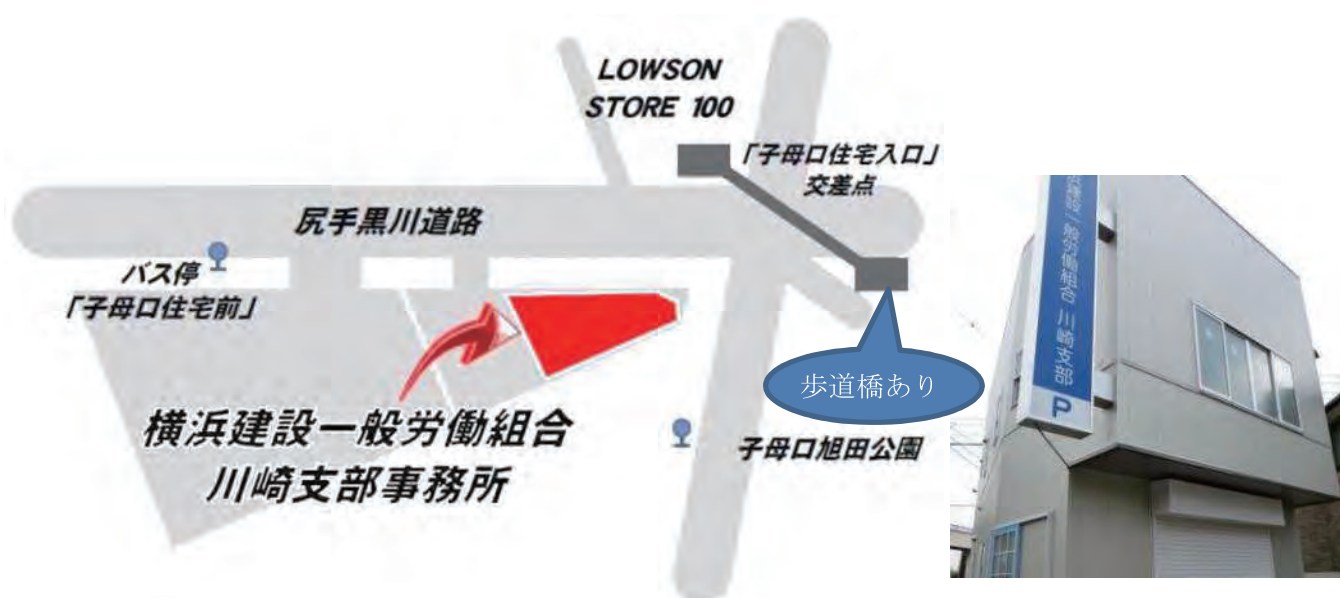
川崎市高津区子母口 848-5

TEL044-751-9096／FAX044-766-6162

Email : kawasaki@kensetu-yokohama.jp

本部 HP <http://www.kensetu-yokohama.jp/>

公式 LINE



令和5年度マイカー点検キャンペーン・スローガン

『「ただいま」の笑顔のために マイカー点検』

愛車の
てんけんしてる？

あなたの安全のために

明日のエコのために

しっかりやろう、定期点検！



一般社団法人 神奈川県自動車整備振興会

川崎自動車整備協議会 代表 和泉 誠一
(有)鹿島モータース 川崎市中原区上平間 1183
TEL 044(522)4401

川崎支部会 支部会長 宮澤 康弘
(株)宮沢モータース 川崎市川崎区観音 2-23-5
TEL 044(266)6669

川崎中央支部会 支部会長 武藤 栄志
川崎中部カーステーション(株) 川崎市幸区矢上 14-7
TEL 044(588)8118

川崎北支部会 支部会長 吉本 長男
(有)吉本興業 川崎市高津区久地 4-26-46
TEL 044(833)4373

祝

**川崎市技能職団体連絡協議会
50 周年記念**

**川崎市美容連絡協議会
会員一同**

設立 50周年 謹んでお祝い申し上げます

川崎支部

アオヤマエンタプライズ(有)

川崎市麻生区下麻生3-39-22
TEL.044-986-9428 FAX.044-986-9429

(株)アクト

川崎市高津区久地3-15-3
TEL.044-833-1191 FAX.044-822-1368

浅水屋カンバン店

川崎市幸区南加瀬3-38-40
TEL.044-588-9307 FAX.044-599-0014

(株)イグチ

川崎市宮前区馬絹1-25-21
TEL.044-861-7054 FAX.044-861-7049

(株)ウイットタカダ

川崎市宮前区平5-1-45
TEL.044-866-1908 FAX.044-866-8616

(株)エダキン

横浜市鶴見区鶴見中央4-32-1 U N E Xビル6階
TEL.045-500-5111 FAX.045-500-5116

(株)オートレント

川崎市多摩区長沢4-41-15
TEL.044-955-9711 FAX.048-283-0987

(株)クイックベンリー

川崎市宮前区西野川3-13-39
TEL.044-754-7882 FAX.044-572-6476

(有)クリア工芸

川崎市川崎区小田1-10-5
TEL.044-344-7027 FAX.044-344-7041

(株)近藤工芸

川崎市高津区宇奈根710-13
TEL.044-820-1040 FAX.044-820-1048

(有)スライプ工芸

川崎市高津区北見方2-1-1
TEL.044-844-1945 FAX.044-812-0106

高津・浅水屋看板店

川崎市高津区千年335-4
TEL.044-755-0278 FAX.044-755-6667

(株)富士工房

川崎市川崎区富士見2-5-14
TEL.044-233-6156 FAX.044-211-2865

(株)ホクト企画

横浜市青葉区藤が丘1-16-32
TEL.045-972-7896 FAX.045-972-7824

(株)まち

川崎市宮前区馬絹6-18-27
TEL.044-853-0355 FAX.044-853-0358

(有)ミズモリ工芸社

川崎市高津区子母口299-1
TEL.044-766-0841 FAX.044-766-0020

(有)ライト工芸

川崎市高津区溝口6-7-4
TEL.044-811-7181 FAX.044-833-8300

看板に関わる人と人をつなぐ

神奈川県広告美術協会
KANAGAWA ADVERTISING ASSOCIATION

一般社団法人 神奈川県広告美術協会

〒231-0057 神奈川県横浜市中区曙町1丁目3
藤和伊勢佐木町ハイタウン306号

TEL : 045-438-9011

FAX : 045-438-9012

MAIL : fujisawa@shinkobi.or.jp



設立50周年おめでとうございます

川崎市技能職団体連絡協議会では、市長表彰を受賞された皆様に技連協常任理事会において協議・選定された表彰受賞記念楯を長年紹介しております。

今回は、設立50周年を記念して大幅に値引きした金額で提供させていただきます。

この機会に皆様のお店や事務所に飾って頂き、事業のご繁栄に活用頂けますようご案内申し上げます。

お申込をご希望の方は、下記記載の製造会社へ直接お問い合わせください。



① 技能功労者楯 通常価格¥18,700
今回価格¥13,200

ダイカスト仕上
(銀メッキ、金さし)
縦 23cm
横 31.8cm
厚さ 2.5cm



② 優秀技能者楯 通常価格¥16,500
今回価格¥11,000



③ 優秀青年技能者楯 (銀メッキ) 通常価格¥15,400
今回価格¥9,900

壁掛け
及び机上
置き対応

A-1 功 労
A-2 優 秀
A-3 優秀青年
銅製ニッケル仕上
金メッキ
縦 30cm 横 10.7cm
厚さ 1cm
各門標
通常価格¥8,800
今回価格¥6,600



下記値引き金額は令和6年7月1日までに
お申込の方となります。

品番	税込・送料込み		
①	技能功労者楯		¥13,200
②	優秀技能者楯		¥11,000
③	優秀青年技能者楯		¥9,900
A-1	功 労	門標	¥6,600
A-2	優 秀		
A-3	青 年		

【お問合せ先】

〒216-0035

(株) まち

川崎市宮前区馬絹6-18-27

電話 044-853-0355

FAX 044-853-0358

商品の発送 受注生産のため1ヶ月から最大で2ヶ月ぐらいを予定しております。

祝

川崎市技能職団体連絡協議会 50周年記念



川崎洋装組合

☆ 新しい感覚と技術で、オリジナルファッションを・・・ ☆
常に技術の向上に励んでおります
後継者の育成に努めております

理事長 山田ます

〒212-0053 川崎市幸区下平間 255
TEL : 044-522-6947 FAX : 044-533-3978

冠婚葬祭・時代行列・ファッションショー・舞台など
各種着付け承ります。お気軽に御相談下さい。(出張着付も致します)
国家資格(技能検定)対策講習会・各種着付け講習会

全日本みやうち着付士技能者の会

(事務局) 〒210-0803 川崎市川崎区川中島 1-5-2 201

「みよこ着付け教室」

TEL&FAX 044-266-9451

(令和6年3月より改名いたします)

かながわHOT 着付士技能者の会

祝 技連協 50 周年 川崎写真師会

三陽フォトスタジオ

〒210-0004 川崎区宮本町 7-1 (電話)222-4473 (FAX)222-4031 川崎市役所際

日之出写真館

〒210-0847 川崎区浅田 2-11-29 (電話)344-0448 (FAX)344-4285 小田銀座商店街

写真のたなかや

〒213-0001 高津区溝口 4-6-28 (電話)822-3466 (FAX)811-9872 高津駅徒歩 4 分

この 1 枚の写真はお客様にとって一生残る財産です

1 枚 1 枚のお写真を大切に写しております

お気軽にご利用くださいませ

祝 50anniversary



川崎美容組合
Kawasaki Biyou Kumiai

川崎美容組合は、これからも技連協と共に、歩み続けます。

川崎市技能職団体連絡協議会
50周年おめでとうございます
技能職は私たちの生活を支える
国の宝です 技能職団体連絡協議会の
益々のご発展をご祈念申し上げます

川崎市技能職団体連絡協議会
青年部OB 三日会一同

三日会は昭和56（1981）年に発足した青年部OBの会です。
初代内藤勝義会長のもと毎月三日を集会日として今日までやって
まいりました。異業種間の交流を通した紳士の会です。多くの会員
が在席され、これからも誇り高く技能職を支えてまいります。
50周年お祝い申し上げます。

三日会代表 鈴木 秀 雄 川崎市食肉加工協同組合

広報連絡係 中三川 さよ子 川崎市美容組合

広報連絡係 小林 伸 光 川崎市染物業組合

川崎市技能職団体連絡協議会

設立50周年記念事業実行委員会

50周年記念事業実行委員名簿

No.	部会等	技連協役職	名前	所属団体名
1	実行委員長	副会長	井口 康明	川崎建築労働組合
2	副実行委員長	副会長	高島 稔	一般社団法人 神奈川県広告美術協会川崎支部
3	副実行委員長	会計	中島 弘貴	川崎インテリア表具組合
4	副実行委員長	青年部長	本田 耕貴	川崎市管工事業協同組合
5	実行委員	会長	山本 知男	首都圏建設産業ユニオン神奈川支部
6	実行委員	副会長	上野 好一	川崎市食肉商業協同組合
7	実行委員	副会長	田中 美枝子	全日本みやうち着付士技能者の会
8	実行委員	副会長	佐藤 浩史	川崎建設労働組合連合会
9	実行委員	会計監査	吉田 武	横浜建設一般労働組合川崎支部
10	実行委員	会計監査	中田 浩司	川崎市美容連絡協議会
11	実行委員	常任理事	鈴木 克明	神奈川県写真師会川崎支部川崎写真師会
12	実行委員	常任理事	松本 洋子	川崎美容組合
13	実行委員	理事	山田 ます	川崎洋装組合
14	実行委員	青年部副部長	吉垣 義光	川崎市造園建設業協同組合
15	実行委員	婦人部長	中尾 育子	中原美容組合
16	実行委員	婦人部副部長	本間 けい子	川崎北部美容組合(宮前支部)
17	実行委員	-	櫻井 統己	川崎建築労働組合
18	実行委員	-	横関 圭三	横浜建設一般労働組合川崎支部

編集後記

設立50周年を迎えるにあたり「50周年記念事業実行委員会」が発足したのは、令和4(2022)年11月でした。記念事業の一環として、記念誌を発刊する運びとなり、実行委員会の中で編纂を進めてまいりました。記念誌の編纂に取り組む中で、限られた時間でまとめ上げていくのは決して容易ではありませんでしたが、こうして皆さまにご高覧いただけることを大変嬉しく思います。

この50年間で、私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。社会が時代とともに移り変わっていくなか、50周年という節目に一冊の記念誌という形に残し、皆さまと共有させていただくことには、大きな意義があると考えています。

制作を終えて、諸先輩方が築き上げた歴史と信頼の上に私たちの“今”があることをあらためて胸に刻むとともに、これまで継承してきた伝統や技能を次の世代に伝え、私たちの想いを未来へつないでいくことの重要性を強く実感する次第です。

新しい時代に向けてスタートを切り、従来の技能の振興と発展に寄与する事業に加え、より良い社会に向けて皆さまと共に歩んでまいりたいと存じます。

なお、制作にあたり、実行委員をはじめとした加盟団体の皆さま、事務局に多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに改めて感謝の意を表し、あとがきとさせていただきます。

令和6(2024)年3月
50周年記念事業実行委員会
実行委員長 井口 康明

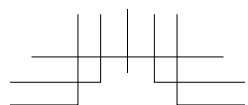
川崎市技能職団体連絡協議会
設立50周年記念誌

令和6(2024)年3月 発行

発行 川崎市技能職団体連絡協議会
編集 50周年記念事業実行委員会
住所 神奈川県川崎市川崎区宮本町1
川崎市経済労働局労働雇用部内
電話 044-200-2299







設立
50
周年
記念
誌

